



栃木県元気ニコニコ部長
とちまるくん

業 務 報 告

令 和 6 (2024) 年 度

— 発信します 明日を拓く 確かな技術 —

VERY 
GOOD
LOCAL
とちぎ

栃木県産業技術センター

目 次

I 事業実績

1 研究開発支援	
(1) 施設・機器開放	
ア 本所	1
イ 繊維技術支援センター	3
ウ 県南技術支援センター	4
エ 紬織物技術支援センター	5
オ 窯業技術支援センター	5
(2) 依頼試験	
ア 本所	7
イ 繊維技術支援センター	8
ウ 県南技術支援センター	9
エ 紬織物技術支援センター	10
オ 窯業技術支援センター	10
(3) 研究開発等のコーディネーター	11
(4) 産業技術支援拠点	11
2 研究開発	
研究結果概要	
(1) 共同研究	12
(2) 受託研究	12
(3) 重点研究	13
(4) 経常研究	13
3 技術相談	
(1) 技術相談	
ア 本所	15
イ 繊維技術支援センター	17
ウ 県南技術支援センター	17
エ 紬織物技術支援センター	17
オ 窯業技術支援センター	18
(2) 新商品開発支援強化事業	18
(3) 技術デリバリー事業	18
4 技術交流・連携	
(1) 宇都宮大学との連携	19
(2) 技術情報等交換会	20
(3) 企業訪問調査	20
(4) 大学等訪問調査	20
(5) 栃木県試験研究機関連絡協議会	21
(6) 広域首都圏輸出製品技術支援センター	21
(7) 首都圏公設試験研究機関連携体 (TKF)	22
(8) 日本機械学会との連携	22
(9) とちぎ子どもの未来創造大学推進事業への協力	23
5 人材育成	
(1) 技術者研修	24
(2) 技術講習会	25
(3) 機器取扱研修	
ア 本所	26
イ 繊維技術支援センター	27
ウ 県南技術支援センター	28
エ 紬織物技術支援センター	29
オ 窯業技術支援センター	29

(4) 技術研修生・技術研究員受入れ	29
(5) 後継者育成	30
(6) インターンシップ受入れ	33
6 技術情報の収集・提供	
(1) 刊行物	34
(2) ペーパーレスニュース	34
(3) 技術情報図書室	35
(4) 栃木県産業技術センター研究成果発表会（産技セオープンラボ 2024）	35
7 発明・創意工夫の奨励	
(1) 第74回栃木県発明展覧会及び児童生徒発明工夫展覧会	37
(2) 創意工夫功労者賞	37
8 支援基盤の強化	
(1) 客員高度技術者招へい	38
(2) 職員研修	39
(3) 産業技術センター運営会議	41
(4) 脱炭素化技術開発等支援会議	41
(5) 研究推進委員会	42
(6) 企画調整会議	42
(7) 令和6年度主要設置機器	42
9 東日本大震災への復興支援	
(1) 放射線・放射能測定試験の実績	43
(2) 県内企業への情報提供	43
10 重点施策等関連事業	
(1) とちぎ産業躍進プロジェクト推進事業	44
(2) フードバレーとちぎ推進事業	47
(3) スマートものづくり研究会事業	48
(4) 脱炭素化社会実現技術研究会事業	49
(5) デジタルものづくり体験セミナー	50
(6) 試作品開発ワークショップ	50
(7) 補助金活用に係る支援	51
11 産業財産権	52
12 来所者数	54
13 加入学会等	55
14 講師・審査員・委員等の派遣	
(1) 講師派遣	56
(2) 審査員派遣	57
(3) 委員等の派遣	58
15 会議・学会等への参加及び報道機関での紹介	
(1) 産業技術連携推進会議関係	60
(2) 学会関係	61
(3) 各種会議	62
(4) セミナー・展示会関係	64
(5) 学会等発表	67
(6) 新聞、テレビ等での報道	69
(7) 投稿	70

II 沿革及び組織

1 沿革	74
2 敷地・建物	75
3 組織及び業務内容	77
4 職員配置	78

I 事業実績

1 研究開発支援

(1) 施設・機器開放

中小企業等の新技術・新製品開発、技術の高度化、品質の向上等を技術的に支援するため、施設及び試験研究機器類を開放した。

・開放実績

施設 11 施設、537 件、2,974 時間+3,970 人（多目的ホール）

施設の開放		利用件数	利用時間等(H)
本所	(多目的ホール)	25	(3,970 人)
	(8 施設)	495	2,951
県南技術支援センター	(1 施設)	6	12
窯業技術支援センター	(1 施設)	11	11
計		537	2,974

※ 多目的ホールは午前、午後単位の利用

機器 201 機種、3,722 件、22,816 時間

機器の開放	機種数	利用件数	利用時間(H)
本所	142	2,796	19,275
繊維技術支援センター	11	41	66
県南技術支援センター	30	410	1,920
紬織物技術支援センター	1	201	609
窯業技術支援センター	17	274	946
計	201	3,722	22,816

ア 本所

(ア) 施設 9 施設、520 件、2,951 時間+3,970 人（多目的ホール）

施設名	利用件数	利用時間等(H)
多目的ホール	25	(3,970 人)
高周波応用試験室	138	721
大型電波暗室	108	661
シールドルーム	108	661
小型電波暗室	89	495
食品試作室	26	263
食品官能試験室	16	79
半無響室	9	67
食品官能試験室（個室型）	1	4
計	520	2,951

(イ) 機器 142 機種、2,796 件、19,275 時間

機器分類	利用件数	利用時間(H)
機械加工機器類 (10 機種)	114	633
二軸エクストルーダー	59	462
5 軸マシニングセンタ	16	56
小型ファイバーレーザ加工機	8	11
超精密加工機	8	11
試験用ホットプレス	6	36
その他 (5 機種)	17	57
材料処理機器類 (23 機種)	172	1,032
自動研磨装置	25	52
急速冷凍装置	24	159
湿式小型切断機	23	43
小型真空ガス包装機	13	37
遠心分離機 (2 機種)	12	14
その他 (17 機種)	75	727
物性試験機器類 (31 機種)	789	3,426
硬さ試験機 (4 機種)	244	1,053
万能材料試験機 (5 機種)	211	1,017
スクラッチ試験装置	77	188
テクスチャーアナライザー	51	357
ポータブル X 線残留応力測定装置	38	175
その他 (19 機種)	168	636
寸法・形状測定、表面観察機器類 (19 機種)	724	2,932
走査型電子顕微鏡 (2 機種)	196	751
X 線 CT 三次元測定機	103	462
X 線透視検査装置	92	409
金属顕微鏡	69	113
測定投影機	58	439
その他 (13 機種)	206	758
電磁気特性測定機器類 (10 機種)	265	1,407
全自動測定装置	101	605
耐ノイズ試験装置	54	243
イミュニティシステム	42	225
EMI 全自動測定システム	41	212
クランプ及びクランプ走行台	12	62
その他 (5 機種)	15	60

分析機器類 (28 機種)	489	2,045
微小部蛍光 X 線分析装置	81	208
フーリエ変換赤外分光光度計	78	206
粒度分布測定装置 (レーザ回折式)	58	146
X 線マイクロアナライザー	36	138
揮発性成分解析システム	32	263
その他 (23 機種)	204	1,084
環境試験機器類 (9 機種)	191	7,162
複合環境試験装置	97	858
低温恒温恒湿装置 (3 機種)	74	5,673
建材耐久試験装置	9	292
電子機器用試験槽	6	75
冷熱衝撃試験機	3	225
その他 (2 機種)	2	39
設計・デザイン支援機器類 (5 機種)	32	584
樹脂 3D プリンタ (熱溶解積層)	11	282
金属 3D プリンタ (レーザ溶融)	8	176
樹脂 3D プリンタ (光造形)	7	110
3DCAD/CAM システム	4	12
大判プリンタ	2	4
その他 (7 機種)	20	54
マッフル炉	5	20
pH メータ (微生物分析用)	5	9
スマートグラス	3	11
高速度ビデオカメラ	3	6
スマートグラス制御・アプリケーション開発用 PC	2	6
その他 (2 機種)	2	2
計	2,796	19,275

イ 繊維技術支援センター

機 器 11 機種、41 件、66 時間

機 器 分 類	利用件数	利用時間(H)
機械加工機器類 (2 機種)	11	11
ワインダー (織機用)	7	7
編立性試験機	4	4

材料処理機器類 (4 機種)	10	17
高圧蒸熱試験機	5	5
テキスタイルインクジェットプリンタ	3	8
高温高圧ロータリー染色機	1	2
染色機 (試験用)	1	2
物性試験機器類 (2 機種)	3	10
ドレープテスター	2	6
洗濯試験機	1	4
寸法・形状測定、表面観察機器類 (1 機種)	7	12
デジタルマイクロスコープ	7	12
分析機器類 (1 機種)	7	13
自記分光光度計	7	13
設計・デザイン支援機器類 (1 機種)	3	3
コンピュータグラフィックス	3	3
計	41	66

ウ 県南技術支援センター

(ア) 施設 1 施設、6 件、12 時間

施設名	利用件数	利用時間(H)
多目的ルーム	6	12
計	6	12

(イ) 機器 30 機種、410 件、1,920 時間

機器分類	利用件数	利用時間(H)
機械加工機器類 (9 機種)	79	354
樹脂試験片ノッチ加工機	24	49
自動研磨装置	18	101
二軸混練押出機	13	96
試料切断機	9	37
射出成形機	5	33
その他 (4 機種)	10	38
材料処理機器類 (2 機種)	6	32
真空ガス置換炉	5	30
樹脂埋込装置	1	2

物性試験機器類 (9 機種)	153	583
万能材料試験機 (2 機種)	80	287
硬さ試験機 (3 機種)	27	114
衝撃試験機	20	37
摩耗試験機 (回転式)	9	56
熱変形温度試験機	9	49
メルトインデクサー	8	40
寸法・形状測定、表面観察機器類 (5 機種)	95	315
金属顕微鏡	30	113
三次元座標測定機	24	92
CNC 画像測定機	15	36
走査型電子顕微鏡	13	50
表面粗さ測定機	13	24
分析機器類 (4 機種)	76	294
X 線分析装置	34	58
示差熱分析装置	31	196
粒度分布測定装置 (レーザ回折式)	6	13
フーリエ変換赤外分光光度計	5	27
環境試験機器類 (1 機種)	1	342
恒温恒湿装置	1	342
計	410	1,920

エ 絨織物技術支援センター

機 器 1 機種、201 件、609 時間

機 器 分 類	利用件数	利用時間(H)
機械加工機器類 (1 機種)	201	609
地機	201	609
計	201	609

オ 窯業技術支援センター

(ア) 施 設 1 施設、11 件、11 時間

施 設 名	利用件数	利用時間(H)
多目的ルーム	11	11
計	11	11

(イ) 機器 17機種、274件、946時間

機器分類	利用件数	利用時間(H)
機械加工機器類 (13機種)	231	757
ポットミル	65	183
トロンミル	61	148
真空土練機	51	295
スタンパー	17	54
ジョウクラッシャー	8	10
その他 (8機種)	29	67
材料処理機器類 (1機種)	1	8
超高速昇温電気炉	1	8
物性試験機器類 (1機種)	4	15
かさ比重計	4	15
分析機器類 (1機種)	31	93
X線回折装置	31	93
その他 (1機種)	7	73
乾燥器	7	73
計	274	946

(2) 依頼試験

中小企業等の依頼に応じて、製品、部品などの各種物性試験・測定・分析を実施し、試験結果報告書を交付した。

依頼試験件数 7,415件

担当部署	件数
本所	4,970
繊維技術支援センター	707
県南技術支援センター	1,655
紬織物技術支援センター	0
窯業技術支援センター	83
計	7,415

ア 本所 4,970 件

試験項目	利用件数	割合
金属の物理試験、化学試験又は測定	2,032	40.8%
耐食性試験	199	
振動試験	6	
熱処理試験	2	
温度湿度環境試験	38	
三次元測定（要素）	165	
三次元測定（輪郭）	8	
引張試験	578	
曲げ試験	23	
圧縮試験	51	
硬さ試験	486	
疲労試験	32	
非破壊検査	219	
精密測定	213	
三次元デジタイジング	12	
金属の硬さ試験又は金属組織等の写真撮影のための試験片の作製	719	14.5%
金属組織等の写真撮影	205	4.1%
光学顕微鏡による組織等の撮影	204	
マクロ組織等の撮影	1	
電気・電子測定試験	129	2.6%
絶縁耐圧試験	129	
樹脂の物理試験又は化学試験	90	1.8%
曲げ試験	24	
圧縮試験	26	
比重試験	34	
耐薬品性試験	6	
木質材料等試験	262	5.3%
熱風循環機及び低温恒温恒湿装置による試験	11	
材料強度試験	19	
キセノンウェザーメーターによる耐候試験	226	
実大万能材料試験機による材料強度試験	1	
接着力試験	5	
食品等の保存試験	18	0.4%
1月以内	3	
1月を超え3月以内のもの	7	
3月を超え6月以内のもの	8	

食品等の検査	235	4.7%
物性試験	60	
微生物酵素試験	175	
放射性核種の測定	98	2.0%
分析	1,028	20.7%
定量分析	11	
定性機器分析	102	
定量機器分析	69	
機器微量分析	179	
金属定量分析	252	
粒度分布測定装置による分析	2	
X線マイクロアナライザーによる分析	28	
エネルギー分散型X線による分析	75	
食品等の分析	310	
走査型電子顕微鏡等による写真撮影	144	2.9%
走査型電子顕微鏡によるもの	100	
プローブ顕微鏡によるもの	2	
デジタル顕微鏡によるもの	42	
コンピュータ援用設計	4	0.1%
試験、分析等の成績書の複本の交付又は写真焼増	6	0.1%
計	4,970	100%

イ 繊維技術支援センター 707 件

試験項目	利用件数	割合
繊維の物理試験又は化学試験	668	94.4%
耐光試験	136	
洗濯試験	41	
汗試験	11	
染色摩擦試験	152	
寸法変化試験	2	
ドライクリーニング試験	2	
燃焼性試験	3	
引張強さ及び伸び率試験	212	
引裂強さ試験	42	
織度試験	5	
摩耗強さ試験	3	
通気性試験	5	
破裂強さ試験	3	

繊維鑑別試験	17	
重量試験	4	
厚さ試験	2	
密度試験	5	
ピリング試験	2	
はっ水度試験	1	
その他の堅ろう度試験	20	
繊維混用率試験	16	2.3%
分析	19	2.7%
定性分析	6	
定量分析	13	
試験、分析等の成績書の複本の交付又は写真焼増	4	0.6%
計	707	100%

ウ 県南技術支援センター 1,655 件

試験項目	利用件数	割合
金属の物理試験、化学試験又は測定	639	38.5%
三次元測定（要素）	191	
三次元測定（輪郭）	7	
引張試験	345	
曲げ試験	11	
圧縮試験	21	
硬さ試験	26	
精密測定	38	
金属の硬さ試験又は金属組織等の写真撮影のための試験片の作製	188	11.4%
金属組織等の写真撮影	98	5.9%
光学顕微鏡による組織等の撮影	47	
マクロ組織等の撮影	51	
樹脂の物理試験又は化学試験	188	11.4%
引張試験	21	
曲げ試験	28	
圧縮試験	11	
衝撃試験	50	
荷重たわみ温度試験	19	
摩耗試験	8	
流れ試験	24	
比重試験	13	
弾性率試験	2	

耐薬品性試験	12	
樹脂の機械加工	6	0.4%
砕石等の物理試験又は化学試験	152	9.2%
ふるい分け試験	79	
単位容積質量試験	1	
密度試験	24	
吸水率試験	4	
すりへり試験	4	
修正 CBR 試験	12	
締固め試験	24	
塑性指数試験	4	
分析	353	21.3%
定量分析	54	
定性機器分析	180	
定量機器分析	54	
機器微量分析	6	
X線回折装置による分析	4	
エネルギー分散型 X線による分析	55	
走査型電子顕微鏡による写真撮影	31	1.9%
計	1,655	100%

エ 絨織物技術支援センター 実績なし

オ 窯業技術支援センター 83件

試験項目	利用件数	割合
窯業材料等の焼成試験	80	96.4%
分析	3	3.6%
蛍光 X線分析装置による分析	3	
計	83	100%

(3) 研究開発等のコーディネート

ア 大型研究開発への取組

国等の支援制度説明や当センターの支援業務紹介、企業訪問などにより研究開発に向けた取組を支援した。

イ 技術相談等によるコーディネート

中小企業等が新技術・新製品開発の際、自社で不足する技術、開発力を補完するため、相談企業の大学、他企業などへの橋渡しを行った。

コーディネート件数 38件

※産業技術センターの技術職員が相談者と相談内容に適した機関又はその機関に所属する適任者などを紹介した件数

担当部署	コーディネート件数	総相談件数
本所	23	7,651
技術交流部	1	320
機械電子技術部	4	4,099
材料技術部	15	1,444
食品技術部	3	1,788
繊維技術支援センター	1	355
県南技術支援センター	11	802
紬織物技術支援センター	0	171
窯業技術支援センター	3	457
計	38	9,436

(4) 産業技術支援拠点

県内関連産業の活性化、生産性向上及び人材育成等を支援するため、デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)を活用し、次の拠点の整備に取り組んだ。また、供用を開始した拠点の開所式を開催した。

(ア) 拠点整備

拠点名	概要
未利用食品等の素材化支援拠点	AI等デジタル技術を活用した未利用食品等の素材化や試作品等の品質評価を支援

(イ) 開所式

拠点名	開催期日 開催場所	主な内容	出席者数
未利用食品等の素材化支援拠点	6. 7. 11 産業技術 センター	1 基調講演 2 研究会の活動概要 3 拠点の見学	33名

2 研究開発

本県産業の競争力強化と地域経済の活性化を図るため、戦略3産業（自動車産業、航空宇宙産業、医療福祉機器産業）、未来3技術（IoT・AI・ロボット、光学、環境・新素材）及び食品関連産業分野を中心に、企業ニーズ、社会ニーズに即した研究に取り組んだ。

研究結果概要

(1) 共同研究 11 課題

非公表 4 課題

No	研究結果概要
1	樹脂 3D プリンタを活用した加工治具の作製（注 1） 機械電子技術部 片岡智史、八木澤秀人、京浜精密工業(株) 樹脂製治具を 3D プリンタで内製化することにより、治具コストを 50%減、リードタイムを 90%減じ、生産効率を高めることができた。
2	PP 細孔内面の接着性改善に向けた紫外線改質システムの開発（注 1） 材料技術部 男澤嶺、大森和宏、小林愛雲、栃木精工(株) 光ファイバーを用いて、PP 製ニードルベース細孔内面に UV 照射できるシステムを構築した。
3	麴造りにおけるデジタル技術活用（注 2） 機械電子技術部 松本健司、高岩徳寿、食品技術部 筒井達也、古口久美子、西堀酒造(株) デジタル技術を活用した既存設備に後付けできる麴管理システムを試作し、麴の生育や仕上がりについて予測可能であるか検証した。
4	吟醸粕を用いたビール等の製造に関する研究（注 2） 食品技術部 筒井達也、岡本竹己、郡司崇浩、栃木マイクロブルワリー、(株)ファーマーズフォレスト 吟醸粕（黒粕）を用いた糖化・発酵条件を明らかにするとともに、実地醸造試験により香味良好な吟醸粕ビールを開発した。
5	加速度センサと切削シミュレーションを用いたリアルタイム工具摩耗モニタリングシステムの開発（注 3） 機械電子技術部 山下健介、近藤弘康、荒井辰也、(株)マツモトセイコー、茨城大学、岡山大学 加速度を用いた切削シミュレーション技術を開発し、形状違い部品に対応した工具摩耗モニタリングシステムを実現した。
6	大谷洞窟熟成生ハムの高品質化に関する研究 食品技術部 伊藤和子、益子朱音、滝沢ハム(株) 生ハム製造におけるバキュームパック熟成に適した方法を見出すとともに、熟成品の味・香り・アミノ酸含有量を評価し、高付加価値製品を開発した。
7	県産いちごを利用した乳酸発酵食品の開発～とちおとめ・とちあいか～ 食品技術部 郡司崇浩、筒井達也、伊藤和子、タカ食品工業(株) 栃木県産とちおとめ、とちあいかから乳酸菌を分離、同定し、いちごピューレにおける最適な発酵条件を明らかにした。

(2) 受託研究 11 課題

非公表 10 課題（うち 9 課題は受託研究（調査型））

No	研究結果概要
1	高濃度セルロース繊維複合樹脂における二軸ロール機の混練条件が射出成形条件及び成形時のフィラ凝集・物性に及ぼす影響 県南技術支援センター 八丁佳功、佐伯和彦、伊藤繁則、日本コークス工業(株) 二軸ロール機で作製された射出成形用高濃度 CeF 複合樹脂ペレットについて、成形性、成形品の外観及び物性の関係を明らかにする。

(3) 重点研究 2 課題

No	研究結果概要
1	ランナーリサイクルのための断熱金型の開発 (注 4) 材料技術部 大森和宏、和氣吉希、県南技術支援センター 八丁佳功 ランナーが受けるせん断応力を低下し、物理劣化を抑制する断熱金型技術を開発した。
2	未利用野菜の活用に向けたブランピング及び乾燥方法に関する研究 食品技術部 金井悠輔、伊藤和子 野菜の乾燥加工に向けた各種処理方法と品質への影響に関する知見が得られ、これを基に適切な処理方法の判断が可能となった。

(4) 経常研究 11 課題

No	研究結果概要
1	チタン合金のエンドミル加工における MQL の油剤が工具寿命に及ぼす影響 機械電子技術部 石原島弘明、近藤弘康、水俣文剛 複数種の油剤をMQL用油剤として選定し、チタン合金を対象とした工具摩耗試験を実施し、工具寿命への影響を調査した。
2	被削材保持方法が加工面品質および工具寿命に及ぼす影響 機械電子技術部 棚原貴登、近藤弘康 被削材保持方法の違いによって発生する加速度が加工面品質および工具寿命に影響を及ぼしていることが定量的に評価できた。
3	X線 CT による空間分解能が測定精度に及ぼす影響 機械電子技術部 鯉沼将大、坂本憲弘 CTで空間分解能を小さく、空気・物質間の境界を拡張面定義に設定すると長さを精度よく計測できることを定量的に明らかにした。
4	ローコード・ノーコードツールを活用した設備の監視に関する研究 機械電子技術部 上野貴明、高岩徳寿 ローコード・ノーコードツールを活用して、離れた設備の温度、湿度を記録し、可視化できるシステムを試作開発した。
5	デザイン資料を利活用したトーシヨンレースの試作開発 繊維技術支援センター 島田千花子、堀江昭次 デザイン資料を活用したトーシヨンレースの図案展開方法を確立し、編成した生地を用いて見本帳及び試作品の作製を行った。
6	現場に即した衣類用織物の曲げ特性評価手法に関する研究 繊維技術支援センター 吉葉光雄、飯沼友英 KESによる曲げ剛性とカンチレバー法による剛軟度の相関を確認し、生産現場で簡便に実施可能な曲げ特性評価方法を提案した。
7	水熱処理によるセルロースナノファイバー/無機ナノ粒子多孔質体の作製に関する研究 県南技術支援センター 永島彩乃、伊藤繁則 CNF/ Al ₂ O ₃ 多孔質体の作製に必要な水熱処理条件(時間・温度)を検討し、多孔質体の性状及び Al ₂ O ₃ 固定化量を評価した。
8	抗菌剤複合シートの開発 県南技術支援センター 八丁佳功、佐伯和彦、永島彩乃 CNF を用いた銀ゼオライト抗菌剤の高分散性溶液を均一にコーティングし、高い抗菌活性を有する複合 PET シートを開発した。
9	交差穴加工におけるばり抑制手法の開発 県南技術支援センター 岡村弘太、植竹大輔、曾田将来 オーステナイト系ステンレス製パイプの交差穴加工において、加工硬化とばりの関係を明らかにし、ばり高さを抑制する手法を確立した。

10	結城紬縮織に用いる強撚糸の有効活用に関する研究 紬織物技術支援センター 金子優、太田仁美、赤羽輝夫 結城紬の縮織の余剰強撚糸を活用した生地 of 織物規格と特性等を検討することにより小物等の製作に適した縮織規格を明らかにした。
11	低温焼成可能な坯土及び釉薬に関する研究 窯業技術支援センター 星佳宏、磯部大我、小林渡 ロクロ成型可能な成形性を有し、1200℃で焼成可能な県内産原料を用いた坯土を開発した。

(注1) 戦略3 産業・未来3 技術に係る重点共同研究【県推進事業】

(注2) フードバレーとちぎ重点共同研究【県推進事業】

(注3) オープンイノベーションプロジェクト支援補助金

(注4) (公財) 金型技術振興財団 研究開発助成

3 技術相談

(1) 技術相談

中小企業等から技術的諸問題について相談を受け、適切なアドバイスを行うとともに、必要に応じて実地指導を行った。

担当部署	相談件数	割合
本所	7,651	81.1%
技術交流部	320	
機械電子技術部	4,099	
材料技術部	1,444	
食品技術部	1,788	
繊維技術支援センター	355	3.8%
県南技術支援センター	802	8.5%
紬織物技術支援センター	171	1.8%
窯業技術支援センター	457	4.8%
計	9,436	100%

ア 本所 7,651 件

(ア) 技術交流部 320 件

項目	相談件数	備考
全 般	320	
計	320	

(イ) 機械電子技術部 4,099 件

項目	相談件数	備考
機械加工研究室	1,029	
金属材料	697	
機械	189	
電子部品	31	
電気材料	18	
電気機械器具	4	
その他	90	
生産システム研究室	1,548	
機械関係	1,462	
材料関係	44	
電子関係	5	
異物分析	1	
その他	36	

電子応用研究室	1,522	
電子関係	1,515	
機械関係	3	
その他	4	
計	4,099	

(ウ) 材料技術部 1,444 件

項 目	相談件数	備考
有機材料研究室	881	
分析全般	244	
有機材料	181	
物性試験	137	
異物分析	132	
金属材料	72	
その他	115	
無機材料研究室	563	
分析全般	209	
無機材料	108	
金属材料	74	
有機材料	70	
表面処理	35	
その他	67	
計	1,444	

(エ) 食品技術部 1,788 件

項 目	相談項目	備考
食品加工研究室	775	
菓子・穀粉類	146	
農産加工	63	
漬物	51	
豆腐	35	
惣菜・佃煮	27	
その他	453	
微生物応用研究室	1,013	
清酒・酒類	457	
味噌	52	
ソース・たれ類	31	
醤油	6	

納豆	5	
その他	462	
計	1,788	

イ 繊維技術支援センター 355 件

項目	相談件数	備考
計測技術	75	
捺染	61	
浸染	27	
原材料糸	24	
分析	22	
その他	146	
計	355	

ウ 県南技術支援センター 802 件

項目	相談件数	備考
機械関係	374	
プラスチック材料	192	
金属材料	55	
高分子材料	39	
無機材料	34	
その他	108	
計	802	

エ 紬織物技術支援センター 171 件

項目	相談件数	備考
糸つむぎ	33	
製織	31	
原材料（手紬糸）	8	
糊付	7	
緋	4	
その他	88	
計	171	

オ 窯業技術支援センター 457 件

項目	相談件数	備考
釉薬	140	
窯業原料	105	
焼成	82	
素地	14	
成形	11	
その他	105	
計	457	

(2) 新商品開発支援強化事業

製陶事業者が行う新商品開発に係る技術支援の強化を図るため、窯業技術支援センターに「釉薬・粘土等相談窓口」を設置した。窓口には専門家として「窯業原材料等相談員」を配置し、窯業原材料の加工に関する技術相談等に対する指導・助言を実施した。

相談員 床井崇一 氏（益子焼伝統工芸士会会長）

配置日数 43 日

相談件数 105 件（15 ページ記載の技術相談件数 9,436 件に含まれる。）

(3) 技術デリバリー事業

新技術・新製品の開発に取り組んでいる県内中小企業等に、当センターの研究職員を派遣し、課題解決を支援した。

派遣期日	主な内容	担当部署
6. 7. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人服等の縫製をはじめとした生産技術に関すること ・展示品のカラーやアイテムに関すること 	繊維技術支援センター
6. 7. 16		
6. 7. 30		
6. 8. 20		
6. 8. 27		
6. 9. 3		
6.10. 1		
6.10. 7		
6.10. 29		
6.11. 19		
6.12. 3		
6.12. 6		
6.12. 17		
6.12. 24		
7. 1. 7		
7. 1. 24		
7. 2. 6		
7. 2. 20		
7. 3. 7		
7. 3. 25		

4 技術交流・連携

大学や産業支援機関等と連携して、様々な交流の機会や場を設け、企業・技術者間の交流を促進し、中小企業等の新技術・新製品開発や新分野進出を支援した。

(1) 宇都宮大学との連携

宇都宮大学と、双方の資源と情報とを有効に活用し、研究開発、人材育成、人材交流等に関し密接な連携を図り、地域産業の課題に適切に対応し、地域産業の振興及び発展に寄与することを目的に締結（令和4年9月29日）した連携協定のもと、各種事業を実施した。

ア 第5回宇都宮大学コラボレーション・フェアでのポスター発表

開催期日	開催場所	発表題目
6. 9. 20	マロニエプラザ (宇都宮市)	1 栃木県産業技術センター ～ 発信します 明日を拓く 確かな技術 ～ 2 栃木県産業技術センター 産業技術支援拠点の御案内 3 栃木県産業技術センター 未利用食品等の素材化支援拠点 4 チタン合金のエンドミル加工における MQL 供給システムの開発 5 立壁切削加工における AE センサを用いた工具欠損状態監視 6 AE センサを用いた研削加工状態の推定 7 切削加工音による工具摩耗状態の推定に関する研究 8 樹脂 3D プリント造形物の表面仕上げ技術の開発 9 三次元測定機の測定方向による測定値の変動について 10 目視検査のエビデンス取得に関する研究 11 超小型衛星の評価試験に関する研究 12 未利用バイオマス資源を活用した防錆フィルムの研究開発 13 酸化セリウムナノ粒子分散ゼオライトを用いた透明樹脂用紫外線遮蔽材の開発 14 原料改質による米粉製品の老化抑制技術の開発 15 二軸エクストルーダーによる大麦未利用部位活用法の検討 16 シイタケの味・香り・食感の分析方法の確立とおいしさの見える化 17 栃木県産日本酒の酒質に関する研究 18 ポリ乳酸繊維の捺染条件に関する研究 19 プラスチックへの銀導電膜作製に関する研究 20 高圧水素用ステンレス鋼のドリル加工におけるバリ抑制手法の開発

イ 宇都宮大学×産業技術センター 交流会

宇都宮大学と産業技術センターが“食”に関連する様々な分野（1～3次産業）で連携することを目的として、交流会を開催した。

開催期日	開催場所	主な内容
7. 3. 18	産業技術センター (宇都宮市)	1 産業技術センター施設見学（未利用食品等の素材化支援拠点） 2 宇都宮大学シーズ紹介 3 産業技術センター食品技術部シーズ紹介 4 ポスター発表による交流

ウ 研究開発

外部資金を活用し、産学官連携による研究開発に取り組んだ。（研究課題数：1件）

※12 ページ記載の共同研究（非公表4課題）に含まれる。

(2) 技術情報等交換会

企業・団体等と当センターにより、業界の動向、技術動向、当センターの事業計画・運営等に関する意見交換や情報共有等を行い、ニーズに対応した事業展開に繋げ、関連企業・業界の技術高度化・振興を支援した。

技術情報等交換会名	開催期日 開催場所	企業・団体数	担当部署
機械電子関係技術情報等交換会	6. 7. 16 本所	6	機械電子技術部
材料関係技術情報等交換会	6. 7. 18 本所	5	材料技術部
食品関係技術情報等交換会	6. 7. 23 本所	6	食品技術部
繊維関係技術情報等交換会	6. 9. 17 繊維技術支援センター	5	繊維技術支援センター
県南地域関係技術情報等交換会	6. 7. 18 県南技術支援センター	6	県南技術支援センター
紬織物関係技術情報等交換会	6. 7. 24 紬織物技術支援センター	3	紬織物技術支援センター
窯業関係技術情報等交換会	6. 7. 8 窯業技術支援センター	5	窯業技術支援センター

(3) 企業訪問調査

企業の技術動向や課題の把握とセンター事業等の利用促進を図るため、企業を訪問し、情報交換を行った。

担当部署	企業数
本所	530
技術交流部	93
機械電子技術部	190
材料技術部	103
食品技術部	144
繊維技術支援センター	71
県南技術支援センター	86
紬織物技術支援センター	27
窯業技術支援センター	27
計	741

(4) 大学等訪問調査

企業と大学等の橋渡しや産学官共同研究等のテーマ設定に活用するため、大学や研究機関の持つ技術シーズ等を調査した。

国等の研究機関 4 機関
大学等の研究室 40 研究室

(5) 栃木県試験研究機関連絡協議会

県の7試験研究機関相互の技術交流・意見交換及び部局を越えた横断的共同研究の円滑な推進を図るための協議会等を開催した。

ア 協議会総会

開催期日	開催場所	検討事項
6. 6. 26	産業技術センター (宇都宮市)	1 令和5(2023)年度事業報告について 2 令和6(2024)年度事業計画(案)について 3 話題提供と意見交換 4 栃木県試験研究機関連絡協議会設置要領の一部改正 5 その他

イ 交流会

開催期日	開催場所	検討事項
6. 12. 10	畜産酪農研究センター (那須塩原市) 担当：畜産酪農研究センター	1 調査研究の紹介 2 施設見学
7. 3. 7	窯業技術支援センター (益子町) 担当：産業技術センター	1 令和7(2025)年度調査研究計画について 2 窯業技術支援センターの取組について 3 施設見学 4 その他

ウ 幹事会

開催期日	開催場所	検討事項
7. 3. 7	窯業技術支援センター (益子町) 担当：産業技術センター	1 令和6(2024)年度事業報告について 2 令和7(2025)年度事業計画(案)について 3 その他

(6) 広域首都圏輸出製品技術支援センター

中小企業の海外展開を支援するため、1都10県の公設試験研究機関が連携して国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験などの技術支援を行った。

ア 技術相談

職員による相談対応 62件 (RoHS、REACH、EMC など)
専門相談員による相談対応 2件 (CE マーキングなど)

イ 海外展開支援セミナー

開催期日	開催場所	内容	参加者数
6. 12. 11	産業技術センター (宇都宮市)	(1) 「上流設計段階からのノイズ対策」 「ESD可視化装置を用いたESD対策部品の有効活用のための研究結果紹介～医療で困るESD対策も考慮～」 講師：産業技術センター MTEP 専門相談員 高梨哲行 氏 サンリツオートメイション(株) 大森智貴 氏 (2) 「欧州の化学物質規制 REACH 規則と RoHS 指令を中心として」 講師：MTEP 東京都/千葉県所属 専門相談員 青木昭二 氏	41名

ウ 海外規格適合性評価試験サービス

EMC 関連試験及び RoHS 指令関係試験（蛍光 X 線分析、ICP 発光分光分析）の海外規格適合性評価試験を実施した。

(7) 首都圏公設試験研究機関連携体（TKF）

首都圏にある公設試験研究機関が連携しワンストップでサービスを提供することにより圏内中小企業の振興を図ることを目的に TKF ミニインターンシップなどの事業を実施し、当センターもその活動に参加した。

TKF ミニインターンシップ

開催期日	派遣元機関	派遣先機関	関連する設備や機器、試験
6. 9. 3	産業技術センター	茨城県産業技術イノベーションセンター	熱拡散率・熱伝導率測定
6. 10. 21	東京都立産業技術研究センター	産業技術センター	複合環境試験装置、恒温恒湿槽、電子機器用試験槽、冷熱衝撃試験機等
6. 11. 18	埼玉県産業技術総合センター	産業技術センター	ナノインデント
7. 2. 12	産業技術センター	埼玉県産業技術総合センター	食の再資源化トライアル拠点

(8) 日本機械学会との連携

（一社）日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門の主催により令和6年5月29日～6月1日にライトキューブ宇都宮で開催した「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2024 in Utsunomiya」で、学会や産業技術総合研究所などとの共催によりワークショップを実施した。

テーマ	講師	開催日	参加者数
地域交流ワークショップ「地域の課題への挑戦」 第1部 『地域産業を支援するメカトロニクス』 第2部 『ロボティクス・メカトロニクス技術で支える元気な地元企業』	福島県ハイテクプラザ 大阪産業技術研究所 鳥取県産業技術センター 熊本県産業技術センター 山梨県産業技術センター オグラ金属(株) (株)野中工業所 フィールド開発(株)	根本大輝 氏 宮島健 氏 新見浩司 氏 道野隆二 氏 保坂響 氏 向田和樹 氏 野中啓太 氏 山口直信 氏	20名
未来へ翔ける技術 ～ドローン技術の最新情報と活用法～	(株)ACSL 五百部商事(有) 晃洋設計測量(株)	六門直哉 氏 五百部達也 氏 平沢健次 氏	53名
次世代 FA 技術によるイノベーション ～最新技術ととちぎが誇るものづくり企業の取組～	三菱電機(株) デクセリアルズ(株)	武原純二 氏 大河原秀之 氏 前口靖雄 氏	38名

(9) とちぎ子どもの未来創造大学推進事業への協力(主催：県教育委員会)

子どもたちの学力向上の基礎づくりのために、学校における学習に加えて、学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む姿勢を涵養することをねらいとして、県内の高等教育機関、民間企業等と連携した各種講座が栃木県教育委員会の主催で実施された。その中で、栃木県産業技術センターとしても、以下の5つの講座を実施した。

開講講座 5講座、33名

講座名	開催日	受入れ学生等	担当
金属材料試験と電子顕微鏡観察講座	6. 7. 23	中学生 計5名	県南技術支援センター
陶芸体験講座	6. 7. 26	小学生 計9名	窯業技術支援センター
染色体験講座	6. 8. 1	小中学生 計8名	繊維技術支援センター
身近にある“もの”の科学講座	6. 8. 6	小中学生 計6名	産業技術センター
とちぎの名産品 結城紬講座	6. 8. 8	小中学生 計5名	紬織物技術支援センター
計		33名	

5 人材育成

中小企業等の技術力向上を促進するため、技術者研修、技術講習会等の実施により、技術者の育成を図った。

(1) 技術者研修

中小企業者又はその従業員を対象に、技術に関する基礎的・専門的技術開発力等の習得を目的として、実習を交えた研修を実施した。

7テーマ、56名

テーマ	講師	開催日	受講者数	担当
X線CT三次元測定機を用いた非破壊検査技術	(株)ニコン 大久保健一 氏	6. 9. 26	6名	機械電子技術部
金属組織試験片の作製及び観察方法	(株)ストルアス 福島想 氏	6. 11. 8	6名	
示差走査熱量計を用いた熱分析の基礎と応用	ネッチジャパン(株) 塚本修 氏	6. 7. 24	5名	材料技術部
粒度分布測定装置による粒体・微粒子測定技術	(株)堀場テクノサービス 篠崎陽子 氏	6. 10. 17	8名	
食品冷凍技術の基礎と活用のポイント	(一社)食品冷凍技術推進機構 鈴木徹 氏 米田工機(株) 池田貴志 氏	6. 8. 22	21名	食品技術部
繊維製品のクレーム事例と原因究明、対策について	(一財)ニッセンケン品質評価センター 染谷明奈 氏	6. 12. 2	6名	繊維技術 支援センター
幾何公差の基礎と三次元測定機による検査	(株)ミットヨ 川村兼一 氏	6. 10. 11	4名	県南技術 支援センター
計			56名	

(2) 技術講習会

各技術分野の課題を取り上げ、専門家を講師とした講習会を実施した。

12 テーマ、345 名

テーマ	講師	開催日	受講者数	担当
AI による「ロボット革命」～最新技術のご紹介～	ダイドー(株) 橋川茂 氏 (株)デンソーウェーブ 清谷和久 氏	6. 6. 25	32 名	機械電子技術部
残留応力の基礎及び測定方法	パルステック工業(株) 谷高弘将 氏	6. 9. 25	24 名	
リバースエンジニアリングの現状と活用事例	東京貿易テクノシステム(株) 櫻井翔 氏	6. 9. 10	9 名	
最近の接着技術の進歩と使いこなし方	東京工業大学 佐藤千明 氏	6. 10. 3	24 名	材料技術部
水素を取り巻く社会動向とその関連技術	岩谷産業(株) 矢田昌志 氏	6. 9. 4	32 名	
食品工場における異物混入の現状と対策の進め方	イカリ消毒(株) 山川武史 氏	6. 9. 3	57 名	食品技術部
・繊維業界におけるサステナビリティの考え方 ・機能性繊維素材の最新動向について	信州大学 村上泰 氏 東レ(株) 小久保佳昭 氏	6. 11. 18	31 名	繊維技術 支援センター
プレス加工技術の理論と実践	日鉄テクノロジー(株) 緒方龍二 氏	6. 9. 12	42 名	県南技術 支援センター
カーボンニュートラル社会実現へ向けた国内外の動向とセメント・コンクリート分野の技術開発	デンカ(株) 五十嵐数馬 氏	6. 11. 15	24 名	
プラスチックマテリアルリサイクルの高度化と環境配慮設計	福岡大学 八尾滋 氏	7. 2. 18	16 名	
伝統と希少さを有する本場結城紬	本場結城紬卸商協同組合 奥澤武治 氏	7. 2. 26	26 名	紬織物技術 支援センター
ガス窯の構造と焼成技術 -3つの何かでできている“やきもの法則”-	(株)大築窯炉工業 谷口浩司 氏	6. 9. 20	28 名	窯業技術 支援センター
計			345 名	

(3) 機器取扱研修

機器の安全、確実な取扱いに必要な知識、技能に関する研修を実施した。

機器等数 202機種、回数 1,055回、参加人数 1,602人、研修時間 2,666時間

区分	機器等数	回数	参加人数	研修時間
本所	146	838	1,288	2,168
施設	9	89	142	89
機器	137	749	1,146	2,079
繊維技術支援センター	9	12	14	17
県南技術支援センター	29	112	161	348
施設	1	1	1	1
機器	28	111	160	347
紬織物技術支援センター	2	2	2	19
窯業技術支援センター	16	91	137	114
計	202	1,055	1,602	2,666

ア 本所

施設9施設、回数89回、参加人数142名、研修時間89時間

施設名	回数	参加人数	研修時間
大型電波暗室	22	27	22
シールドルーム	19	24	19
高周波応用試験室	14	14	14
小型電波暗室	11	11	11
食品試作室	8	27	8
食品官能試験室	5	12	5
食品官能試験室（個室型）	4	11	4
食品原料前処理室	4	11	4
半無響室	2	5	2
計	89	142	89

機器137機種、回数749回、参加人数1,146名、研修時間2,079時間

区分	回数	参加人数	研修時間
機械加工機器類（7機種）	14	31	70
二軸エクストルーダー	3	10	48
超精密加工機	3	6	12
小型ファイバーレーザ加工機	3	6	3
ビーズミル	2	4	4
試験用ホットプレス	1	2	1
その他（2機種）	2	3	2
材料処理機器類（25機種）	78	167	119
小型真空ガス包装機	11	39	11
高温高圧レトルト殺菌機	8	35	32
遠心分離機（2機種）	7	12	7
超高压試験機	5	10	5
真空凍結乾燥機（食品用）	5	7	20
その他（19機種）	42	64	44
物性試験機器類（28機種）	169	239	425
万能材料試験機（5機種）	55	80	153
硬さ試験機（4機種）	34	48	119
分光測色計（2機種）	15	19	15
ピンオンディスク型摩擦摩耗試験機	12	17	24
スクラッチ試験装置	11	15	22

その他 (15 機種)	42	60	92
寸法・形状測定、表面観察機器類 (18 機種)	161	236	546
走査型電子顕微鏡 (2 機種)	36	45	144
X 線 CT 三次元測定機	35	55	140
非接触三次元デジタイザ	20	32	60
表面粗さ測定システム	16	22	64
X 線透視検査装置	15	23	60
その他 (12 機種)	39	59	78
電磁気特性測定機器類 (9 機種)	50	60	70
全自動測定装置	19	24	38
イミュニティシステム	10	10	10
耐ノイズ試験装置	7	7	7
体積・表面抵抗率計	5	7	5
EMI 全自動測定システム	3	3	3
その他 (4 機種)	6	9	7
分析機器類 (29 機種)	163	238	688
フーリエ変換赤外分光光度計	42	63	168
微小部蛍光 X 線分析装置	23	30	92
粒度分布測定装置 (レーザ回折式)	13	14	52
味覚センサー	12	23	48
デジタル屈折糖度計	7	11	7
その他 (24 機種)	66	97	321
環境試験機器類 (9 機種)	53	70	55
低温恒温恒湿装置 (3 機種)	21	28	21
複合環境試験装置	19	22	21
建材耐久試験装置	4	9	4
電子機器用試験槽	4	4	4
冷熱衝撃試験機	3	5	3
その他 (2 機種)	2	2	2
設計・デザイン支援機器類 (5 機種)	17	38	57
樹脂 3D プリンタ (熱溶解積層)	6	13	18
樹脂 3D プリンタ (光造形)	6	13	18
3DCAD/CAM システム	2	7	6
金属 3D プリンタ (レーザ熔融)	2	4	14
大判プリンタ	1	1	1
その他 (7 機種)	44	67	49
スマートグラス	17	24	17
スマートグラス制御・アプリケーション開発用 PC	17	24	17
pH メータ (微生物分析用) 高速度ビデオカメラ	4	5	4
外観検査 AI システム	2	6	4
高速度ビデオカメラ	2	5	4
その他 (2 機種)	2	3	3
計	749	1,146	2,079

イ 繊維技術支援センター

機器 9 機種、回数 12 回、参加人数 14 名、研修時間 17 時間

区分	回数	参加人数	研修時間
機械加工機器類 (1 機種)	1	1	2
編立性試験機	1	1	2
材料処理機器類 (4 機種)	5	5	6
高圧蒸熱試験機	2	2	2

テキスタイルインクジェットプリンタ	1	1	2
高温高圧ロータリー染色機	1	1	1
染色機（試験用）	1	1	1
物性試験機器類（2機種）	2	3	2
洗濯試験機	1	2	1
ドレープテスター	1	1	1
寸法・形状測定、表面観察機器類（1機種）	3	4	3
デジタルマイクロスコープ	3	4	3
分析機器類（1機種）	1	1	4
自記分光光度計	1	1	4
計	12	14	17

ウ 県南技術支援センター

施設 1 施設、回数 1 回、参加人数 1 名、研修時間 1 時間

施設名	回数	参加人数	研修時間
多目的ルーム	1	1	1
計	1	1	1

機器 28 機種、回数 111 回、参加人数 160 名、研修時間 347 時間

区分	回数	参加人数	研修時間
機械加工機器類（8機種）	19	34	41
樹脂試験片ノッチ加工機	5	5	5
自動研磨装置	3	8	6
二軸混練押出機	3	6	12
試料切断機	2	8	2
射出成形機	2	3	8
その他（3機種）	4	4	8
材料処理機器類（1機種）	1	1	2
真空ガス置換炉	1	1	2
物性試験機器類（9機種）	42	53	113
万能材料試験機（2機種）	22	30	76
硬さ試験機（3機種）	6	6	10
摩耗試験機（回転式）	4	5	8
衝撃試験機	4	4	4
メルトインデクサー	3	5	6
熱変形温度試験機	3	3	9
寸法・形状測定、表面観察機器類（5機種）	34	53	148
CNC 画像測定機	9	13	54
表面粗さ測定機	7	10	21
走査型電子顕微鏡	7	8	21
金属顕微鏡	6	14	12
三次元座標測定機	5	8	40
分析機器類（4機種）	14	17	42
X線分析装置	5	6	15
示差熱分析装置	5	5	15
粒度分布測定装置（レーザ回折式）	3	3	9
フーリエ変換赤外分光光度計	1	3	3
環境試験機器類（1機種）	1	2	1
恒温恒湿装置	1	2	1

計	111	160	347
---	-----	-----	-----

エ 紬織物技術支援センター

機器 2 機種、回数 2 回、参加人数 2 名、研修時間 19 時間

区分	回数	参加人数	研修時間
機械加工機器類 (1 機種)	1	1	18
地機	1	1	18
分析機器類 (1 機種)	1	1	1
分光測色計	1	1	1
計	2	2	19

オ 窯業技術支援センター

機器 16 機種、回数 91 回、参加人数 137 名、研修時間 114 時間

区分	回数	参加人数	研修時間
機械加工機器類 (12 機種)	76	116	77
ポットミル	25	25	25
トロンミル	8	23	8
スタンパー	8	8	8
高速スタンプミル	6	6	6
高速度微粉砕機	6	6	6
その他 (7 機種)	23	48	24
材料処理機器類 (1 機種)	1	1	1
超高速昇温電気炉	1	1	1
物性試験機器類 (1 機種)	2	2	2
かさ比重計	2	2	2
分析機器類 (1 機種)	11	17	33
X 線回折装置	11	17	33
その他 (1 機種)	1	1	1
乾燥器	1	1	1
計	91	137	114

(4) 技術研修生・技術研究員受入れ

実績なし

(5) 後継者育成

重要無形文化財かつ伝統的工芸品である本場結城紬及び益子焼の伝統的産業維持・発展のため、伝習生・研究生の受入れなどにより後継者育成を実施した。

ア 紬織物技術支援センター

(ア) 伝習生受入れ

本場結城紬の生産に携わる伝習生を募り、下拵え、製織の基礎工程を伝習して、後継者の育成を図った。

伝習生受入れ人数 3名（実数）

期間：令和6年4月12日～令和7年3月12日

名称	内容	指導員
座学	結城紬の歴史と結城紬産地の概要 結城紬の製作工程に関する基礎知識	赤羽輝夫
	結城紬の織物設計、設計図案に関する基礎知識	太田仁美 伝統工芸士 永田順子
実技	地機織りその他製織に必要な基礎技術 結城紬無地、縞柄、緋柄製織	太田仁美 篠崎紀子 保坂羽伽奈 海津若奈 伝統工芸士 永田順子

(イ) 研究生受入れ

伝習生として所定の科目を修了した者などを対象に、紬織物に関する高度な理論及びその応用についての技術の習得を目的として、研究生の受入れを実施した。

研究生受入れ人数 1名（実数）

期間：令和6年4月12日～令和7年3月12日

内容	指導員
結城紬縞柄帯地の作品製作 結城紬緋柄織物の作品製作	太田仁美 金子優 伝統工芸士 永田順子 伝統工芸士 須藤英

(ウ) 糸つむぎ講習会

真綿から手紬糸を取る後継者の育成を目的に、講習会を実施した。

講習会受講者数 117名（延べ数）

名称	内容	講師	開催場所 及び回数	受講者数 (延べ数)
糸つむぎ講習会	袋真綿からの糸つむぎ	伝統工芸士 永田順子	小山市役所東出張所 小山市立中央公民館 年間12回実施	117名

(エ) 結城紬一貫生産工程研修

高機による製織や結城紬の多工程一貫生産に対応できる人材の育成を目的に、技術研修を実施した。

技術研修受講者数：17名

コース名		内容	講師	研修期間	受講者数
高機実践研修	基礎	高機・道具の知識について、整経、経糸巻取り、綜統通し、箆通し、織物組織について、織出し、製織（コースター）、後始末	保坂羽伽奈	6. 7. 2 ～6. 7. 30 (5日間)	3名
				6. 8. 7 ～6. 9. 11 (5日間)	3名
	応用	実習内容について、整経、経糸巻取り、綜統通し、箆通し、織出し、製織（ランチョンマット）、後始末	保坂羽伽奈	6. 9. 24 ～6. 10. 22 (5日間)	3名
				6. 10. 30 ～6. 11. 27 (5日間)	1名
	実践	実習内容について、整経、機かけ、綜統通し、箆通し、織出し、緯糸巻き、製織、後始末 作品発表・講評 講演「【結城紬】伝統を守る技法とこれからの製品開発」	保坂羽伽奈 本場結城紬卸商協同組合 理事長 奥澤武治	6. 12. 11 ～7. 2. 26 (10日間)	3名
下拵え研修		設計書作成、染色準備、経糸下糊付け（2回）、緯糸糊付け、総揚げ、管巻き、整経、経糸本糊付け、束分け、切替え、箆通し、機巻き、前結び、かけ糸掛け、かし上げ、織出し	伝統工芸士 永田順子	6. 9. 5 ～7. 1. 30 (19日間)	2名
拵くり・染色研修		図案の読み方、糊付け、総揚げ、糸吊り、糸巻き、整経、束分け、たぐり、墨付け、拵くり、仮縛り、糸編み、枠外し、糸・道具後始末、枠入れ、糸ほどき	伝統工芸士 小島義晴	6. 6. 17 ～6. 12. 9 (20日間)	2名
		染色の基礎知識、染色準備（総揚げ）、サンプル染色、配合染色（2色・3色）、拵くり糸染色、脱色、目色染色、たたき染め、現場研修、染色サンプル説明	伝統工芸士 渡辺智文		

イ 窯業技術支援センター

(ア) 伝習生受入れ

陶磁器製造等窯業業界に携わる伝習生を募り、基礎知識及び技術を伝習して、後継者の育成を図った。

伝習生受入れ人数 10名（実数）

期間：令和6年4月8日～令和7年3月11日

名称	内容	指導員
座学	陶磁器の歴史と県内産地の概要 陶磁器の原料に関する基礎知識 施釉、焼成に関する基礎知識	星佳宏 磯部大我
実技	ロクロ成形基礎技術 施釉、焼成	磯部大我 早川嘉

所外研修（(資)藤田製陶所、益子焼協同組合、益子陶芸美術館、笠間陶芸大学校、茨城県陶芸美術館）

(イ) 研究生受入れ

伝習生として所定の科目を修了した者などを対象に、窯業に関する高度な理論及びその応用についての技術の習得を目的として、研究生の受入れを実施した。

研究生受入れ人数 6名（実数）

期間：令和6年4月8日～令和7年3月11日

内容	指導員
釉薬調合基礎技術 石膏型製作技術 ロクロ成形応用技術 施釉、焼成	小林渡

(ウ) 体験型短期研修

県内陶磁器業界への人材流入を目的とし、窯業に関心のある方を対象とした体験型の短期研修を実施した。

内容	開催日	受講者数	指導員
ロクロ成形 釉薬調合 業界現状説明 施設見学 個別相談	6. 8. 23	8名	星佳宏 松本健一
	6. 10. 18	7名	磯部大我
	6. 10. 20	8名	早川嘉 小林渡

(6) インターンシップ受入れ

大学、高等学校等の生徒を対象に、在学中における就業体験を目的としたインターンシップを実施した。

インターンシップ受入れ 5コース、17名

講座名	開催日	受入れ学生等	担当
繊維技術支援センターの業務について	6. 6. 25 ～6. 6. 28 (4日間)	足利工業高等学校 2名	繊維技術支援センター
プラスチックおよび金属材料等の試験検査	6. 6. 25 ～6. 6. 28 (4日間)	足利工業高等学校 3名	県南技術支援センター
各種試験・計測機器の取扱いと実習	6. 8. 19 ～6. 8. 23 (5日間)	芝浦工業大学大学院 1名 明治大学大学院 1名 茨城大学大学院 1名	機械電子技術部
材料分析・評価の実務	6. 8. 19 ～6. 8. 23 (5日間)	埼玉大学 1名 東京理科大学 1名 日本工業大学大学院 1名	材料技術部
食品の試作、試験及び研修の補助	6. 8. 19 ～6. 8. 23 (5日間)	宇都宮大学 1名 宇都宮大学大学院 1名 東京海洋大学大学院 1名 千葉大学 1名 新潟大学 2名	食品技術部
計		17名	

6 技術情報の収集・提供

情報化の進展にともない技術に関する情報も多種多様であり、企業の新製品開発、多角化にはこれらの技術情報の収集が重要である。そこで、産業技術センターとして、技術情報を収集するとともに、刊行物、ペーパーレスニュースでの情報提供や専門図書、雑誌の閲覧など、情報の提供を随時行った。

(1) 刊行物

下記の刊行物を発行して、関係機関及び業界に配布した。

刊行物名	区分	回数	部数/回	備考
研究報告（令和5（2023）年度）	定期	1	-	ホームページに掲載
業務報告（令和5（2023）年度）	定期	1	-	ホームページに掲載
事業計画概要（令和7（2025）年度）	定期	1	-	ホームページに掲載
テックゲノッセ	定期	1	-	電子データ配布

(2) ペーパーレスニュース

技術情報や技術講習会、研修会などの情報をホームページに掲載するとともに、電子メールによりこれらの情報をタイムリーに提供した。

ペーパーレスニュース登録者数 680名（令和7年3月31日現在）

vol	配信日	内 容
854	6. 4. 5	令和6（2024）年度補助金事業及び専門家派遣事業の実施について 他3
855	6. 4. 10	令和6（2024）年度「ものづくり技術強化補助金」事業計画の募集について【5/24 締切】 他1
856	6. 4. 12	「未利用食品等活用支援補助金」事業計画の募集【5/24 締切】 他4
857	6. 4. 16	令和6（2024）年度「製造工程脱炭素化促進アドバイザー派遣事業」の募集【5/10 締切】 他2
858	6. 5. 1	令和6（2024）年度第1回脱炭素化社会実現技術研究会 開催の御案内【5/31 締切】 他2
859	6. 5. 7	「とちぎグリーン成長産業創出支援事業」事業計画の募集について【5/31 締切】 他1
860	6. 5. 9	令和6（2024）年度「とちぎカーボンニュートラルGoods（脱炭素製品購入促進事業）」の募集について【6/18 締切】
861	6. 5. 10	令和6（2024）年度栃木県フロンティア企業 “とちぎサステナブル・フロンティア企業” の募集について【5/17 締切】
862	6. 5. 15	令和6（2024）年度 第1回 スマートものづくり研究会 開催の御案内【6/14 締切】 他2
863	6. 5. 22	令和6（2024）年度第1回サステナブル食品開発研究部会 未利用食品等の素材化支援拠点開所式（同時開催）の御案内【7/5 締切】 他2
864	6. 5. 24	令和6（2024）年度 中小企業技術者研修の開催について（テーマ：示差走査熱量計を用いた熱分析の基礎と応用）【6/18 締切】 他3
865	6. 6. 6	令和6（2024）年度「未来3技術等開発促進セミナー」の開催について（オンライン開催）【6/14 締切】
866	6. 6. 11	副業・兼業マッチング支援事業について（栃木県産業振興センター） 他2
867	6. 6. 14	事業再構築補助金に係る制度説明会の開催について【7/3 締切】 他1
868	6. 6. 19	令和6（2024）年度第1回サステナブル食品開発研究部会 未利用食品等の素材化支援拠点開所式（同時開催）の御案内【7/5 締切】
869	6. 6. 21	「サポートユアビジネス事業助成金（研究開発助成）」募集のご案内【7/12 締切】 他3
870	6. 6. 28	第2回スマートものづくり研究会『製造現場へのロボット導入最新動向』開催のお知らせ【7/16 締切】 他2
871	6. 7. 1	未利用食品等の素材化支援拠点の供用開始について 他1
872	6. 7. 5	令和6（2024）年度 中小企業技術者研修「食品冷凍技術の基礎と活用のポイント」のご案内 他4
873	6. 7. 11	令和6（2024）年度食品技術講習会の御案内 他1
874	6. 7. 17	栃木県産業技術センター研究成果発表会（産技セ オープンラボ2024）【8/28 開催】について 他2
875	6. 7. 24	令和6年度「海外出願助成金」公募開始のご案内について（栃木県産業振興センター）【8/19 締切】 他2
876	6. 8. 1	試作品開発ワークショップ参加者募集【9/10～開催】について【9/6 締切】 他2
877	6. 8. 8	第3回スマートものづくり研究会『製造現場への協働ロボット導入事例紹介』開催のお知らせ【8/30 締切】 他4
878	6. 8. 20	【締切間近】栃木県産業技術センター研究成果発表会（産技セ オープンラボ2024）【8/28 開催】について【8/21 締切】 他4
879	6. 9. 4	令和6（2024）年度第2回サステナブル食品開発研究部会の御案内【9/16 締切】 他4
880	6. 9. 6	事業継続力強化計画策定セミナーの参加者募集について【経営支援課】【9/25 締切】 他3
881	6. 9. 11	令和6（2024）年度中小企業技術者研修 テーマ：金属組織試験片の作製及び観察方法【10/11 締切】 他4
882	6. 9. 17	令和6（2024）年度第3回サステナブル食品開発研究部会の御案内【10/2 締切】 他1
883	6. 9. 26	「第6回脱炭素経営 EXPO 春」（日程：2/19～21）における栃木県ブースへの共同出展者の募集について【10/4 締切】 他4
884	6. 10. 4	令和6（2024）年度 経済安全保障対応促進セミナーの開催（11/1）について【10/25 締切】 他4

885	6. 10. 10	令和6(2024)年度繊維技術講習会の開催について テーマ:機能性繊維素材の最新動向について【11/13 締切】 他4
886	6. 10. 21	令和6(2024)年度 化学・資源技術講習会の開催について 他1
887	6. 10. 24	キャッシュレス決済のお知らせ 他2
888	6. 10. 30	令和6(2024)年度第5回サステナブル食品開発研究部会の御案内【11/13 締切】 他4
889	6. 11. 7	【締切間近!!】令和6(2024)年度 化学・資源技術講習会の開催について【11/8 締切】 他3
890	6. 11. 12	令和6(2024)年度 海外展開支援セミナー【12/6 締切】 他3
891	6. 11. 15	キャッシュレス決済のお知らせ 他1
892	6. 11. 26	「令和6年度次世代自動車人材育成講座」受講者募集!【11/29 締切】 他4
893	6. 11. 29	公益財団法人 JKA 補助事業による導入機器のご紹介【顕微ラマン分光装置】 他1
894	6. 12. 13	令和6(2024)年度第6回サステナブル食品開発研究部会 成果発表・試作品等検討会の御案内【1/28 締切】 他2
895	6. 12. 18	令和6(2024)年度「オープンイノベーションプロジェクトテクニカルセミナー」の開催について【1/10 締切】 他1
896	6. 12. 25	「アトツギのためのキャリアデザインセミナー&先輩アトツギ会社訪問」参加者募集のご案内【2/7 締切】 他1
897	7. 1. 7	(参加者募集)「5軸加工機による航空機部品加工講座」【1/10 締切】 他2
898	7. 1. 15	事業再構築補助金【第13回公募】について【3/26 締切】 他1
899	7. 1. 22	(参加者募集)「航空機部品の三次元測定講座」【1/24 締切】 他4
900	7. 1. 28	AI等未来技術活用スマートファクトリー化推進事業『成果発表会』の開催について【2/14 締切】 他4
901	7. 2. 5	令和6(2024)年度第4回脱炭素化社会実現技術研究会 開催の御案内【2/26 締切】 他2
902	7. 2. 14	2/26(水)14時00分～「とちぎデジタルハブ」イベントのご案内 他1
903	7. 2. 19	活用事例集を公開しました 他1
904	7. 2. 26	「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(通称:ものづくり補助金)」【19次公募】について 他1
905	7. 3. 13	3月は【価格交渉促進月間】です 他2

(3) 技術情報図書室

技術情報図書室の専門図書や専門雑誌を来訪者の閲覧に供した。

(4) 栃木県産業技術センター研究成果発表会(産技セオープンラボ2024)

当センターの研究成果等を周知し、企業の利活用を促進するため、成果発表会を開催した。

ア 開催日 令和6年8月28日(水)

イ 場所 産業技術センター多目的ホール、エントランスホール、産業交流センター第2・4会議室

ウ 来場者 146名

エ 概要

(ア) 基調講演

「ものづくり企業におけるデータサイエンスについて～データ駆動型社会の到来に向けて～」

宇都宮大学 データサイエンス経営学部長 長谷川光司 氏

(イ) 研究成果等発表(全10テーマ)

機械電子分野

「次世代通信用ミリ波回路の特性と回路基板評価技術(宇都宮大学 研究シーズ発表)」

「チタン合金のエンドミル加工におけるMQL供給システムの開発」

「目視検査のエビデンス取得に関する研究」

「超小型衛星の評価試験に関する研究」

「高圧水素用ステンレス鋼のドリル加工におけるバリ抑制手法の開発」

材料・食品分野

「酸化セリウムナノ粒子分散ゼオライトを用いた透明樹脂用紫外線遮蔽材の開発」

「未利用バイオマス資源を活用した防錆フィルムの研究開発」

「原料改質による米粉製品の老化抑制技術の開発」

「シイタケの味・香り・食感の分析方法の確立とおいしさの見える化」

「食のマイノリティを包括した和食食材利用餃子の開発（宇都宮大学 研究シーズ発表）」
(ウ) ポスター・試作品展示
産業技術センター研究成果、事業紹介、特許紹介等展示 63 件

7 発明・創意工夫の奨励

企業や勤労者、児童生徒の発明や創意工夫などの知的な活動を奨励するため、優れた発明や創意工夫を行った者を顕彰した。

(1) 第74回栃木県発明展覧会及び児童生徒発明工夫展覧会

県内企業や発明家の優れた発明考案品・新製品や科学的思考と創意をもとに自作した児童・生徒の作品を一堂に展示し、その成果を一般に広く普及させることにより、研究開発意欲の向上と県内の科学技術水準の向上、児童・生徒の豊かな観察力と想像力の育成に資することを目的として開催した。

		発明展覧会	児童生徒発明工夫展覧会
募集時期		7月1日(月)～8月30日(金)	8月23日(金)～9月10日(火)
申込点数		20点	200点(199人)
受賞点数 ※1		<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学大臣賞 ・特許庁長官奨励賞 ・関東経済産業局長奨励賞 ・日本弁理士会会長奨励賞 ・発明協会会長奨励賞 ・栃木県知事賞 各1点 ・栃木県発明協会会長賞 2点 	<ul style="list-style-type: none"> 団体賞 3点 金賞 10点 銀賞 15点 銅賞 15点
審査日		10月16日(水)	10月16日(水)
展覧会	開催期間	10月18日(金)～10月20日(日)	
	場所	産業技術センター 多目的ホール	
	入場者数	287名	
表彰式	開催日	11月27日(水)	11月15日(金)
	場所	県庁舎昭和館正庁	県総合教育センター大講義室

(2) 創意工夫功労者賞

各職域における優れた創意工夫により省力化、合理化等を行った勤労者の中から科学技術の改善向上に貢献した実績顕著な者を表彰し、勤労者の創意工夫する意欲を高揚することを目的として開催した。

令和6年度表彰式

開催日	令和6年4月19日(金)	
場所	県庁舎昭和館正庁	
表彰	栃木県創意工夫功労者	25名

令和7年度候補者募集

募集期間	令和6年6月17日(月)～7月17日(水)	
主催	栃木県、(一社)栃木県発明協会	
申込み先	産業技術センター	

8 支援基盤の強化

企業支援の基盤となる職員の資質向上や施設機器の整備等により、技術支援機能を強化した。また当センターの運営方法や各種事業の企画等について協議検討する会議や委員会を開催し、各種事業の効果的な実施に努めた。

(1) 客員高度技術者招へい

当センター単独では対応が困難な技術や先端技術について、大学や民間等の専門家を客員高度技術者として招へいし、指導を受けた。

技術分野	指導テーマ	招へい高度技術者	期日	担当部署
除去加工技術	切削工具の長寿命化および研削加工の高精度化のための状態監視技術の習得	岡山大学大学院 環境生命自然科学研究科 助教 金子和暉 氏	6. 12. 11	機械電子技術部
		足利大学 工学部創生工学科機械分野 准教授 藤本正和 氏	7. 2. 21	
デジタルものづくり技術、測定・評価技術	X線CT技術の高度化	(株)ニコン インダストリアルソリューション事業部 大久保健一 氏	7. 1. 17	
デジタルものづくり技術	製造現場における最新ロボット活用	三菱電機(株) 松本亮太 氏	6. 9. 17	
接合技術、表面処理・改質技術	表面処理技術を活用した接着・接合技術	群馬大学 理工学部マルチスケール組織・界面制御学研究室 教授 荘司郁夫 氏	6. 10. 28	材料技術部
		大阪大学大学院 工学研究科附属精密工学研究センター 准教授 大久保雄司 氏	6. 10. 10	
食品技術	凍結乾燥の基礎とフリーズドライ食品開発技術	九州大学大学院 工学研究院 教授 中川究也 氏	6. 7. 29	食品技術部
	乳酸菌の利用技術	東京農業大学 応用生物科学部農芸化学科 教授 梶川揚申 氏	6. 7. 3	

(2) 職員研修

中小企業の抱える技術課題の解決技法など、技術支援担当者として必要な知識・技法等を習得するため、研究機関、企業等へ職員を派遣した。

研修テーマ名	派遣職員	場所又は開催方式	研修期間
玉掛け技能講習	機械電子技術部 高岩徳寿	コマツ教習所栃木センタ	6. 6. 25 ～6. 6. 27
クレーン（5t 未満）の運転の業務（特別教育）			6. 7. 1 ～6. 7. 2
専門技術派遣研修 「ロボットシステム設計技術（ロボットシステム導入編）」	機械電子技術部 藤沼誠人	高度ポリテクセンター 高度ポリテクセンター ポリテクセンター宮城	6. 7. 11 ～6. 7. 12
専門技術派遣研修 「自動機械設計のための要素選定技術」			6. 7. 16 ～6. 7. 17
専門技術派遣研修 「ロボットシステム設計技術（シミュレーション活用編）」			6. 10. 9 ～6. 10. 10
NEDO 講座 「マルチマテリアル構造技術及び構造材料の開発技術者養成に係る特別講座」 接着試験法講座	材料技術部 小林愛雲	産業技術総合研究所	6. 7. 22 ～6. 7. 26
専門技術派遣研修 「産業用ロボット特別教育（教示）」	機械電子技術部 藤沼誠人	県央産業技術専門校	6. 8. 5 ～6. 8. 6
専門技術派遣研修 「産業用ロボット特別教育（検査）」			6. 8. 7 ～6. 8. 8
とちぎ職業人材カレッジ研修	窯業技術支援センター 松本健一 小林渡	県総合文化センター	6. 8. 20
TKF ミニインターンシップ 「熱拡散率・熱伝導率測定」	材料技術部 大森和宏 中田あゆ美	茨城県産業技術イノベーションセンター	6. 9. 3
TKF ミニインターンシップ 「食の再資源化トライアル拠点」	食品技術部 金田治彦 仁平淳史 金井悠輔 益子朱音	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	7. 2. 12
公設試験研究機関研究職員研修	技術交流部 阿久津知宏	中小企業大学校東京校	6. 9. 24 ～6. 9. 27
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	機械電子技術部 八木澤秀人 藤沼誠人	（一社）栃木県労働基準協会連合会	6. 10. 7 ～6. 10. 8 6. 12. 2 ～6. 12. 3

<p>専門技術派遣研修 「環境・新素材分野における無機材料の定量分析技術の習得」</p>	<p>材料技術部 石田莉菜</p>	<p>宇都宮大学</p>	<p>6.10.21 6.10.22 6.10.25 6.10.30 6.11.1 6.11.7 6.11.8 6.11.12 6.11.18 6.11.20 6.11.21 6.11.25 6.11.28 6.12.2 6.12.16 6.12.20 7.1.24 7.1.29 7.2.6 7.2.26</p>
<p>エックス線作業主任者養成講習</p>	<p>機械電子技術部 坂本憲弘 鯉沼将大 石原島弘明</p>	<p>(一社)茨城労働基準協会連合会 中央安全衛生教育センター (公財)神奈川県労務安全衛生協会 (公財)神奈川県労務安全衛生協会</p>	<p>6.11.18 ~6.11.19 6.11.25 ~6.11.26 6.11.25 ~6.11.26</p>
<p>三次元座標測定機 (MCOSMOS/GEOPAC[CNC機]実践編</p>	<p>県南技術支援センター 曾田将来</p>	<p>(株)ミットヨ</p>	<p>6.12.5 ~6.12.6</p>
<p>EX アカデミー (TEM スクール)</p>	<p>県南技術支援センター 八丁佳功</p>	<p>芝浦機械(株)</p>	<p>7.2.27 ~7.2.28</p>

(3) 産業技術センター運営会議

所長、副所長、部長、技術支援センター長で構成し、事業管理に係る協議・調整及び重要課題に係る調査・審議を行った。

回数	開催期日	開催場所	主な検討事項
1	6. 4. 1	産業技術センター (宇都宮市)	産業技術センタースケジュールについて 出先機関長等会議資料について 他
2	6. 4. 10	産業技術センター (宇都宮市)	主要課題・新規事業について JKA 自己評価について 他
3	6. 4. 22	産業技術センター (宇都宮市)	産業技術センタースケジュールについて 第1回企画調整会議について 他
4	6. 5. 17	繊維技術支援センター (足利市)	産業技術センタースケジュールについて 運営計画の実績・検証(R5)及び対応方針(R6)について 他
5	6. 6. 21	産業技術センター (宇都宮市)	産業技術センタースケジュールについて 運営計画の推進状況の管理・評価の結果について 他
6	6. 7. 17	県庁本館 (宇都宮市)	産業技術センタースケジュールについて 中小企業技術者研修及び食品技術講習会の案内について 他
7	6. 8. 19	産業技術センター (宇都宮市)	産業技術センタースケジュールについて 産業技術センターオープンラボ 2024 について 他
8	6. 9. 19	県南技術支援センター (佐野市)	産業技術センタースケジュールについて 第74回発明展覧会について 他
9	6. 10. 18	産業技術センター (宇都宮市)	産業技術センタースケジュールについて 成果事例集の作成状況について 他
10	6. 11. 13	窯業技術支援センター (益子町)	産業技術センタースケジュールについて 活用事例集の様式案について 他
11	6. 12. 20	産業技術センター (宇都宮市)	産業技術センタースケジュールについて 活用事例集について 他
12	7. 1. 17	紬織物技術支援センター (小山市)	産業技術センタースケジュールについて JKA 自己評価について 他
13	7. 2. 12	産業技術センター (宇都宮市)	産業技術センタースケジュールについて 活用事例集の作成と利活用について 他
14	7. 3. 21	県庁舎昭和館 (宇都宮市)	産業技術センタースケジュールについて 令和7年度出先機関長等会議資料について 他

(4) 脱炭素化技術開発等支援会議

所長、副所長、部長、技術支援センター長で構成し、県内ものづくり企業の脱炭素化に向けた取組への支援に係わる調査・協議を行った。

回数	開催期日	開催場所	主な検討事項
1	6. 4. 22	産業技術センター (宇都宮市)	本支援会議及び各プロジェクトチームの活動計画について
2	6. 5. 17	繊維技術支援センター (足利市)	企業支援の進捗状況等について
3	6. 6. 21	産業技術センター (宇都宮市)	企業支援の進捗状況等について
4	6. 7. 17	県庁舎本館 (宇都宮市)	次年度の企業支援に係る事業・内容(活動計画)について 企業支援の進捗状況等について
5	6. 8. 19	産業技術センター (宇都宮市)	企業支援の進捗状況等について
6	6. 9. 19	県南技術支援センター (佐野市)	企業支援の進捗状況等について
7	6. 10. 18	産業技術センター (宇都宮市)	企業支援の進捗状況等について

8	6. 11. 13	窯業技術支援センター (益子町)	企業支援の進捗状況等について
9	6. 12. 20	産業技術センター (宇都宮市)	企業支援の進捗状況等について
10	7. 1. 17	繊維物技術支援センター (小山市)	企業支援の進捗状況等について
11	7. 2. 12	産業技術センター (宇都宮市)	企業支援の進捗状況等について 脱炭素化技術開発等支援会議の見直しについて
12	7. 3. 21	県庁舎昭和館 (宇都宮市)	本支援会議及び各プロジェクトチームの活動報告について 次年度の企業支援に係る事業・内容（活動計画）について

(5) 研究推進委員会

新規研究課題の設定や、研究の進捗・成果の評価を適切に行うため、部長、支援センター長等による内部推進委員会と外部の専門技術者等による外部推進委員会を開催した。

内部推進委員会 5回、外部推進委員会 1回

委員会	回数	開催場所	開催期日
内部推進委員会	第1回	産業技術センター(宇都宮市)	6. 7. 22
	第2回		6. 8. 19
	第3回		7. 2. 17
	第4回		7. 2. 27
	第5回		7. 3. 4
外部推進委員会	—		6. 6. 14

(6) 企画調整会議

試験・研究・技術開発支援事業等の円滑な推進を図るため、特定課題の協議・調整を行った。

回数	開催期日	主な検討事項
1	6. 4. 18	令和6(2024)年度企画調整会議スケジュールについて 令和6(2024)年度事業について 令和7(2025)年度事業計画について 運営計画進捗状況について
2	6. 7. 25	令和7(2025)年度各種事業計画について 研究関連書類の提出時期について 機器整備計画について 令和7(2025)年度予算要求について
3	6. 11. 7	令和7(2025)年度予算要求状況について
4	7. 2. 14	令和7(2025)年度予算化状況について 年度切替え時期における各種報告等について 令和7(2025)年度企画調整会議関係の年間スケジュール(案)について

(7) 令和6年度主要設置機器

企業ニーズ等を踏まえ、必要な機器を財団の助成事業を有効に活用して整備した。

ア 公益財団法人 JKA 補助事業

機器名	型式	装置概要	所管部署
顕微ラマン分光装置	日本分光(株) RMP-510	微小な異物や腐食生成物などの未知試料の解析に用いる装置。	材料技術部

9 東日本大震災への復興支援

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故の影響により、放射能検査を義務付ける国、地域がいまだ多く、県内企業からの検査ニーズへの対応と消費者の安全・安心に寄与するため、以下の支援策を実施した。

(1) 放射線・放射能測定試験の実績

ア 放射性核種測定

ゲルマニウム半導体検出器型の放射能測定装置を使用し、製品に含まれる放射性核種（ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137）の量を測定した。

放射性核種測定（本所） 49 件、98 検体

イ 放射線量測定

実績なし

(2) 県内企業への情報提供

県内企業からの放射線・放射能に関する技術相談に対応した。（109 件）

10 重点施策等関連事業

県の重点施策等として実施する次の事業について技術面から参画及び支援した。

(1) とちぎ産業躍進プロジェクト推進事業

重点的に振興を図るべき自動車、航空宇宙、医療福祉機器に係る産業分野について各協議会を設けるとともに、新技術・新製品開発等への活用の促進を図るべき AI・IoT・ロボット、光学、環境・新素材に係る技術分野についてとちぎ未来技術フォーラムを設け、研究開発支援、人材育成・確保支援等に係る事業に参画及び支援した。

ア 自動車産業振興協議会

(ア) ネットワーク形成支援

a プロジェクト推進会議

令和6年3月19日

Web開催

b 定期総会

令和6年5月14日

会場：ホテル東日本宇都宮

(イ) 研究開発支援

a 次世代モビリティ事業化推進事業

(a) 次世代自動車技術市場化促進研究会（次世代のクルマづくり研究セミナー）

令和6年12月4日

会場：日産自動車㈱ 栃木工場

b 戦略3産業・未来3技術に係る重点共同研究

「樹脂3Dプリンタを活用した加工治具の作製」

参加企業：京浜精密工業㈱

c オープンイノベーションプロジェクト支援事業【各協議会・フォーラム共通事業】

(ウ) カーボンニュートラル実現に向けた産業成長推進支援

a 自動車産業電動化等対応支援事業

(a) 次世代自動車研究開発ワークショップ

○ Honda e:HEV 車両技術説明会

令和6年10月28日

会場：モビリティリゾートもてぎ

○ Honda e:HEV 技術説明・部品見学会

令和6年11月12日

会場：産業技術センター

○ Honda e:HEV 解析ワークショップ

令和6年11月～令和7年2月

○ Honda e:HEV 分解部品解析結果合同報告会

令和7年2月14日

会場：産業技術センター

(b) 試作品開発ワークショップ

令和6年9月10日、10月2日～3日、10月23日～24日、12月4日～5日、12月18日～19日

会場：産業技術センター

(c) モデルベース開発活用促進事業 デジタルものづくり体験セミナー

○ 第1回 令和7年2月19日

会場：産業技術センター

○ 第2回 令和7年2月26日

会場：産業技術センター

○ 第3回 令和7年3月14日

会場：産業技術センター

イ 航空宇宙産業振興協議会

- (ア) ネットワーク形成支援
 - a プロジェクト推進会議
令和6年3月25日 Web開催
 - b 定期総会
令和6年5月14日 会場：ホテル東日本宇都宮
- (イ) 人材育成・確保支援
 - a 航空宇宙産業次世代人材育成事業
 - (a) 航空宇宙機器部品生産実践講座
 - 製造編 発展講座
令和7年1月20日～22日 会場：産業技術センター
 - 品質検査編
令和7年2月6日～7日 会場：産業技術センター
 - b 栃木航空宇宙懇話会(TASC)との共催事業
 - (a) 航空宇宙産業次世代技術講座(月例研修会)
 - 第1回
令和6年6月24日 会場：(株)SUBARU 研修施設 弥生荘(Web併催)
 - 第2回
令和6年10月30日 Web開催
 - 第3回
令和6年11月13日 会場：(株)SUBARU 研修施設 弥生荘(Web併催)
 - 第4回
令和7年2月26日 会場：(株)SUBARU 研修施設 弥生荘(Web併催)
- (ウ) 研究開発支援
 - a 戦略3産業・未来3技術に係る重点共同研究
「樹脂3Dプリンタを活用した加工治具の作製」
参加企業：京浜精密工業(株)
 - b オープンイノベーションプロジェクト支援事業【各協議会・フォーラム共通事業】

ウ 医療福祉機器産業振興協議会

- (ア) ネットワーク形成支援
 - a プロジェクト推進会議
令和6年3月18日 Web開催
 - b 定期総会
令和6年5月14日 会場：ホテル東日本宇都宮
- (イ) 研究開発支援
 - a 戦略3産業・未来3技術に係る重点共同研究
「PP細孔内面の接着性改善に向けた紫外線改質システムの開発」
参加企業：栃木精工(株)
 - b オープンイノベーションプロジェクト支援事業【各協議会・フォーラム共通事業】

エ 未来技術フォーラム

- (ア) ネットワーク形成支援
 - a 幹事会
令和6年3月 書面開催
 - b 幹事会
令和6年5月14日 会場：ホテル東日本宇都宮
- (イ) 人材育成・確保支援
 - a AI等未来技術活用スマートファクトリー化推進事業【AI・IoT・ロボット技術部会】
 - (a) スマートファクトリー伴走支援事業
 - スマートファクトリーセミナー
令和6年7月30日 会場：産業技術センター(Web併催)
 - 成果発表会
令和7年2月18日 会場：産業技術センター(Web併催)
 - (b) スマートものづくり研究会
令和6年6月25日、7月22日、9月5日、9月27日、10月24日、11月20日、12月20日、令和7年2月18日
会場：産業技術センター等
- (ウ) 研究開発支援
 - a AI等未来技術活用スマートファクトリー化推進事業【AI・IoT・ロボット技術部会】
 - (a) スマートファクトリー実証モデル事業
 - 成果発表会
令和7年2月18日 会場：産業技術センター
 - b 戦略3産業・未来3技術に係る重点共同研究
「PP細孔内面の接着性改善に向けた紫外線改質システムの開発」
参加企業：栃木精工㈱
 - c オープンイノベーションプロジェクト支援事業【各協議会・フォーラム共通事業】

オ 各協議会共通事業

- (ア) カーボンニュートラル実現に向けた産業成長推進支援
 - a 製造工程脱炭素化促進事業【各協議会・フォーラム共通事業】
 - (a) 製造工程脱炭素化促進アドバイザー派遣事業
 - b 脱炭素化技術実用化促進事業【各協議会・フォーラム共通事業】
 - (a) 脱炭素化社会実現技術研究会事業
 - 脱炭素化社会実現技術研究会
令和6年6月7日、10月3日、令和7年3月3日
会場：産業技術センター(Web併催)
令和7年2月18日
会場：県南技術支援センター(Web併催)
 - マルチマテリアル化ワーキンググループ
令和6年8月1日、10月3日、令和7年3月3日
会場：産業技術センター(Web併催)
 - 再生材料・バイオプラスチックワーキンググループ
令和6年7月16日、令和7年2月18日
会場：県南技術支援センター

(2) フードバレーとちぎ推進事業

“食”をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる“フードバレーとちぎ”を目指す取組のうち研究開発支援等に係る事業について実施した。

ア サステナブル食品開発研究部会

持続可能な社会へ貢献する技術や商品開発、地域資源等を活用した食品の加工、高付加価値食品の開発などをテーマに技術セミナーや交流会等を開催し、参加企業の技術力向上や課題解決のための連携・交流等を進め、新商品・新技術開発を促進した。

開催期日 開催場所	主な内容	出席者数
6. 7. 11 本所	(第1回部会) 1 基調講演 「未利用食品活用による価値創出とDXの推進」 ㈱アキモ 秋本薫 氏 2 令和5(2023)年度活動報告及び令和6(2024)年度事業計画について 3 未利用食品等の素材化支援拠点見学	33名
6. 9. 18 本所	(第2回部会) 1 講演 (1)「高品質食品の製造に向けた殺菌・加熱加工技術」 日本大学 生産工学部 特任教授 五十部誠一郎 氏 (2)「水蒸気加熱装置(アクアクッカー)の説明・デモ」 ㈱タイヨー製作所 営業部長 長谷川充仁 氏 2 取組事例紹介・意見交換	17名
6. 10. 4 本所	(第3回部会) 1 講演 (1)「食品乾燥技術の基礎と規格外野菜を活用した商品開発」 ㈱木原製作所 専務取締役 木原利昌 氏、営業部 田村哲也 氏 (2)「凍結乾燥技術とフリーズドライ食品の開発動向」 日本テクノサービス㈱ 営業部 課長 飯本孝行 氏 2 取組事例紹介・意見交換	18名
6. 10. 25 本所	(第4回部会) 1 講演 「AIを活用した外観検査の基礎と応用事例」 ㈱スカイロジック 松下広嗣 氏 2 取組事例紹介・意見交換	14名
6. 11. 15 本所	(第5回部会) 1 講演 (1)「素材に優しい食品粉碎技術と加工事例」 ㈱セイシン企業 東日本食品営業課 課長 上小澤俊郎 氏 (2)「食品粉碎分級システムの説明・デモ」 ヴァーダー・サイエンティフィック㈱ 営業部 アプリケーションマネージャー 二宮苗央 氏 2 取組事例紹介・意見交換	16名
7. 2. 7 本所	(第6回部会) 1 講演 「顧客に選ばれる商品とは?～売れる商品を生み出すプロセス～」 ㈱パイロットフィッシュ 代表取締役 五日市知香 氏 2 成果・試作品等発表 ㈱ITB、あさ日の恵み、㈱白相酒造、(社福)パステル、panification U、 ㈱ファーマーズフォレスト、㈱三峯金型、茂木の竹林メンマ工房 (アドバイザー) ㈱パイロットフィッシュ 代表取締役 五日市知香 氏 東京事務所 栃木県企業誘致・県産品販売推進本部 販路開拓専門員 篠崎剛 氏 芳賀町ロマン開発㈱ 道の駅はが代表取締役社長 阿久津俊夫 氏	25名

イ フードバレーとちぎ重点共同研究の実施

実用化・波及効果が期待できるテーマを設定し、重点共同研究を実施した。

(ア) 「麹造りにおけるデジタル技術活用」

参加企業等：西堀酒造(株)

(イ) 「吟醸粕を用いたビール等の製造に関する研究」

参加企業等：栃木マイクロブルワリー、(株)ファーマーズフォレスト

(3) スマートものづくり研究会事業

県内企業における AI・IoT 等の技術導入に関する機運醸成と現場で活用できる人材の育成を目的に研究会を開催し、関連技術の利活用による企業の生産性向上や新製品開発を促進した。

開催期日 開催場所	主な内容	出席者数
6. 6. 25 本所	第1回スマートものづくり研究会 1 基調講演 AIによる「ロボット革命」～最新技術のご紹介～ ダイドー(株) ロボット事業部 橋川茂 氏 (株)デンソーウェーブ ソリューション事業部 清谷和久 氏 2 今後のスマートものづくり研究会の活動について 3 とちぎビジネス AI センター及び栃木県の IoT、AI 関連支援施策の御紹介	21 社 32 名
6. 7. 22 本所	第2回スマートものづくり研究会(実習) 製造現場へのロボット導入最新動向	15 社 18 名
6. 9. 5 本所	第3回スマートものづくり研究会(実習) 製造現場へのロボット導入事例紹介	23 社 27 名
6. 9. 27 本所	第4回スマートものづくり研究会(実習) 外観検査に活用できる AI 技術	11 社 14 名
6. 10. 24 本所	第5回スマートものづくり研究会(実習) PLC の制御と IoT 化 講師：(株)アイファ電気商会 関山忠志 氏	12 社 18 名
6. 11. 20 企業	第6回スマートものづくり研究会(現地見学) スマートものづくり先進事例の現地見学 会場：新エフエイコム(株) スマートファクトリーラボ OYAMA	10 社 14 名
6. 12. 20 本所	第7回スマートものづくり研究会(実習) 小型マイコンボードの基礎	10 社 10 名
7. 2. 18 本所 (Web 併催)	第8回スマートものづくり研究会 AI 等未来技術活用スマートファクトリー化推進事業『成果発表会』と同時開催 1 基調講演「企業力を高めるデジタル化のポイント」 ウイングアーク 1st(株) 大川真史 氏 2 スマートファクトリー実証モデル事業 成果発表&意見交換 (株)アイ・シー・エス、(株)上原園、パスキン工業(株)、(株)湯原製作所 3 スマートファクトリー伴走支援事業 成果発表 (株)晃和、(株)しばた工芸、やまこ産業(株) 4 スマートものづくり研究会 ・研究会活動報告及び調査事業報告 産業技術センター機械電子技術部 ・研究会参加企業の取組紹介 錦正工業(株) 永森久之 氏 5 とちぎビジネス AI センター及び栃木県事業紹介	48 社 80 名

(4) 脱炭素化社会実現技術研究会事業

脱炭素化技術の活用を促進し、県内ものづくり企業の競争力強化を図るため、脱炭素化の課題解決に向けた最新技術情報を提供する研究会を開催した。また、技術・ノウハウの蓄積や企業人材の育成を図るワーキンググループ（マルチマテリアル化WG、再生材料・バイオプラスチックWG）を実施した。

ア 脱炭素化社会実現技術研究会

開催期日 開催場所	主な内容	出席者数
6. 6. 7 本所 (Web 併催)	第1回脱炭素化社会実現技術研究会 1 外部有識者による技術情報の提供 (1) 「異種材料接合の基礎と今後の展開」 東北大学 大学院工学研究科 マテリアル・開発系 材料システム工学専攻 教授 佐藤裕 氏 (2) 「バイオプラスチックの現状と生分解性プラスチック加工技術の開発事例」 小松技術士事務所 副所長 小松勝男 氏 2 令和6年度WG活動計画の説明	23社・団体 28名
6. 10. 3 本所 (Web 併催)	第2回脱炭素化社会実現技術研究会（材料技術講習会） 外部有識者による技術情報の提供 「最近の接着技術の進歩と使いこなし方」 東京科学大学 教授 佐藤千明 氏	18社・団体 24名
7. 2. 18 県南技術支援センター (Web 併催)	第3回脱炭素社会実現技術研究会 外部有識者による技術情報の提供 「プラスチックマテリアルリサイクルの高度化と環境配慮設計」 福岡大学 研究推進部 機能・構造マテリアル研究所 特命研究教授 八尾滋 氏	14社・団体 16名
7. 3. 3 本所 (Web 併催)	第4回脱炭素化社会実現技術研究会 1 外部有識者による技術情報の提供 (1) 「ステンレス鋼の接着用表面処理-接着における耐久性向上-」 元東京理科大学 創域理工学部 客員教授 山辺秀敏 氏 (2) 「海洋生分解性プラスチックの開発の現状と展望」 群馬大学大学院理工学府・教授 群馬大学食健康科学教育研究センター・センター長 粕谷健一 氏 2 WGの令和6年度活動結果報告及び令和7年度活動計画紹介	18社・団体 23名

イ マルチマテリアル化WG

開催期日 開催場所	主な内容	出席者数
6. 8. 1 本所 (Web 併催)	第1回マルチマテリアル化WG 材料の表面処理と接着耐久性に関する実証実験の説明、内容の検討	8社 9名
6. 10. 3 本所 (Web 併催)	第2回マルチマテリアル化WG 1 接着耐久性試験の経過報告・意見交換 2 外部有識者によるコメント 東京科学大学 教授 佐藤千明 氏	7社 8名
7. 3. 3 本所 (Web 併催)	第3回マルチマテリアル化WG 1 接着耐久性試験の結果報告・意見交換 2 外部有識者によるコメント 元東京理科大学 創域理工学部 客員教授 山辺秀敏 氏 3 接着技術全般に関する意見交換	3社 3名

ウ 再生材料・バイオプラスチック WG

開催期日 開催場所	主な内容	出席者数
6. 7. 16 県南技術支援センター	第1回再生材料・バイオプラスチック WG 1 令和5年度までのワーキンググループ実証試験の結果に関する報告 2 ランナーリサイクル成形の実証試験に関する説明、内容の検討	4社 4名
7. 2. 18 県南技術支援センター	第2回再生材料・バイオプラスチック WG 1 ランナーリサイクル成形実証試験結果の報告・意見交換 2 令和7年度WG活動に関する意見交換	4社 4名

(5) デジタルものづくり体験セミナー

次世代自動車や新分野に向けて自動車部品サプライヤーの技術力向上を図るため、シミュレーションを活用した最新のものづくりを体験しながらMBD/CAEの理解を深めるセミナーを実施した。

開催期日 開催場所	主な内容	出席者数
7. 2. 19 本所	第1回：最新CAEの体験とデジタル技術の活用に向けた意見交換 講師：(株)akf 代表取締役社長 増沢航介 氏 (株)IDAJ MBDプロセス・ソリューション開発部 小松孝 氏	4社 5名
7. 2. 26 本所	第2回：CAEの基礎とFemtetを体験 【第1部】『CAE技術の基礎を学ぶ！社内ではかすヒントをご紹介します』 【第2部】『Femtet操作体験』 講師：ムラタソフトウェア(株) 営業企画部 佐藤勝 氏	5社 7名
7. 3. 14 本所	第3回：CAE結果と実物の性能を比較 『CAE結果の実物検証』 講師：生産システム研究室職員	7社 9名

※第2回～第5回は参加者を固定し、2班に分け、それぞれの回を班毎に1日ずつ実施した。

(6) 試作品開発ワークショップ

電動化等への対応を目的に、次世代自動車や新分野に向けた製品の開発技術向上を図るため、センター設備を活用し、対象物から3Dデータを取得、3Dプリンタによる造形、造形した試作品の測定・評価に至る一連のプロセスを実践的に習得するワークショップを実施した。

開催期日 開催場所	主な内容	出席者数
6. 9. 10 本所	第1回試作品開発ワークショップ：セミナー 基調講演「リバーエンジニアリングの現状と活用事例」 講師：東京貿易テクノシステム(株) 櫻井翔 氏	8社 9名
6. 10. 2 10. 3 本所	第2回試作品開発ワークショップ：実習（測定） 3次元デジタル化、X線CT三次元測定機を用いて、実物から3Dデータを取得 講師：生産システム研究室職員	8社 8名
6. 10. 23 10. 24 本所	第3回試作品開発ワークショップ：実習（設計） 3Dデータから設計変更に必要なCADデータを作成 講師：(株)スリーディー・システムズ・ジャパン 和田浩一 氏	7社 7名
6. 12. 4 12. 5 本所	第4回試作品開発ワークショップ：実習（造形） 熱溶解積層、光造形2種類の樹脂3Dプリンタで試作品を造形 講師：生産システム研究室職員	8社 8名

6.12.18	第5回試作品開発ワークショップ：実習（検査）	7社 7名
12.19	3Dプリンタで造形した試作品をX線CT、3次元座標測定機を用いて検査	
本所	講師：生産システム研究室職員	

※第2回～第5回は参加者を固定し、2班に分け、それぞれの回を班毎に1日ずつ実施した。

(7) 補助金活用に係る支援

県内中小企業に対して、補助金に関する情報提供を行うとともに、産業技術センターに相談窓口を設置し、企業からの補助金申請等に係る相談に対応した。

事業名	個別相談会対応	補助金申請に係る 相談対応
事業再構築補助金	実績なし	実績なし

11 産業財産権

(1) 保有産業財産権 (特許 15 件)

No	区分	名称	登録番号	登録年月日	発明・考案者	内容
1	特許	板状蛍光体とそれを使用したディスプレイ	5034033	24. 7. 13	松本泰治 細井栄 龍谷大学 吉澤石灰工業(株) 関係者 3 名	六角板状ゼオライトに、発光中心となる希土類元素をイオン交換法で導入することによる、板状蛍光体とその製造方法である。希土類元素を変えることで、光の 3 原色の発光が可能であり、ディスプレイへの応用が期待できる。
2	特許	板状蛍光体とその利用	5279134	25. 5. 31	松本泰治 細井栄 龍谷大学 吉澤石灰工業(株) 関係者 3 名	厚さ方向にはナノサイズであるが、面方向には十分な広がりをもった板状の結晶体であって、紫外線の照射を受けて赤外光を発する蛍光体を提供し、それにより記録の偽造防止のためのセキュリティ印刷に適した顔料を提供して、技術の高度化の要請にこたえる。
3	特許	金属担持ダイヤモンド微粉の製造方法及び金属担持ダイヤモンド微粉	5411210	25. 11. 15	松本泰治 竹澤信隆 山ノ井翼 飯塚一智 トーマイダイヤ(株) 関係者 3 名	一次粒子としての平均粒径が $5\mu\text{m}$ 以下のダイヤモンド微粉、特にサブミクロンクラスのダイヤモンド微粉構成粒子上に均一な金属担持層を形成する方法を提供する。
4	特許	ゼオライト X に分散する金属ナノ粒子、金属ナノ粒子分散ゼオライト X および金属ナノ粒子分散ゼオライト X の製造方法	5428018	25. 12. 13	松本泰治 大森和宏 龍谷大学	ナノサイズの細孔容積を持つゼオライト内にイオン交換法によって金属イオンとアンモニウムイオンの両方を保持した後、このゼオライトを加熱処理してアンモニウムイオンを分解することによって発生する還元力の高いアンモニアにより金属イオンを還元することで、ナノサイズの金属粒子を均一にゼオライト細孔内に分散させる方法である。
5	特許	リチウム型ゼオライトの製造方法	5594710	26. 8. 15	松本泰治 (公財)鉄道総合技術研究所 龍谷大学	合成温度が 20°C ~ 50°C の範囲で、しかも水酸化リチウムすなわちアルカリ濃度が 1M (1モル/l) と極めて希薄な濃度であり、短い時間で製造する事ができるリチウム型ゼオライトの製造方法を提供する。
6	特許	青色に発光する蛍光体とその製造方法および利用	5700326	27. 2. 27	加藤栄 松本泰治 龍谷大学 吉澤石灰工業(株) 関係者 4 名	六角板状の形状を有し、紫外光を受けて青色に発光する蛍光体および、その蛍光体の製造方法を提供する。本蛍光体は厚さ方向にはナノサイズで、面方向には十分な広がりをもつと同時に明瞭に発光する塗膜を形成することが可能で、偽造防止技術への応用が期待される。
7	特許	酸化セリウムナノ粒子-ゼオライト複合体、その製造方法および紫外線遮蔽材としての利用	5750662	27. 5. 29	細井栄 松本泰治 吉澤石灰工業(株) 関係者 3 名	ゼオライトの細孔内において均一な粒径分布を有するナノサイズの酸化セリウムナノ粒子、板状形態のゼオライトを用いた酸化セリウムナノ粒子分散板状複合体、およびゼオライト内にセリウムと他の遷移金属元素あるいはアルカリ土類金属元素を共存させることを特徴とする金属酸化物固溶酸化セリウムナノ粒子の製造方法を提供する。

8	特許	耐溶損性鋳物およびその製造方法、ならびに金属溶湯接触部材	5942118	28. 6. 3	柳田治美 阿部雅 高田昇 小池勝美 古河キャスト ック(株)	本発明は、母材金属とその表面に形成された酸化物層の一部が、母材金属の結晶粒界に繊毛状に伸長している構造の耐溶損性に優れる鋳物およびその鋳物からなる金属溶湯接触部材に関するものである。
9	特許	耐溶損性鋳物、その製造方法および金属溶湯接触部材	5942119	28. 6. 3	柳田治美 阿部雅 高田昇 小池勝美 古河キャスト ック(株)	本発明は、母材金属とその表面に形成された酸化物層の一部が、母材金属の結晶粒界に繊毛状に伸長している構造を有する耐溶損性鋳物の製造方法に関するものである。
10	特許	ABW型ゼオライトの製造方法	6028190	28. 10. 28	松本泰治 松本健一 (公財)鉄道総合研究所 関係者2名	アスペクト比が5以下と小さく、その形態が流動性に優れた角柱形または紡錘形を有するABW型ゼオライト、それを用いたアルカリシリカ反応抑制材、およびそれらの製造方法を提供する。
11	特許	オルニチンを富化した納豆の製造方法	6142197	29. 5. 19	星住宏 古口久美子 あづま食品(株) 関係者4名	通常の製造工程を変更することなく含有されるオルニチンを富化させることのできる納豆の製造方法を提供する。
12	特許	静電容量式角度検出装置	6507347	31. 4. 12	清水暁 植竹大輔 八木澤秀人 丸井計器(株)	小型かつ高精度であり絶対角度が検出可能な静電容量式角度検出装置を提供する。本角度検出装置は、従来のレゾルバと代替可能であるため、角度計やロータリーエンコーダ等への応用が期待される。
13	特許	アロフェン膜複合体、それを用いたシート、及びアロフェン膜複合体の製造方法	6778863	2. 10. 15	松本泰治 佐伯和彦 飯塚一智 (国研)産業技術総合研究所 品川ゼネラル(株) 関係者2名	アルミ基材、不織布等の基材にアロフェン単味の膜を形成し、密着強度や剥離強度を高めたアロフェン膜複合体と、その製造方法を提供する。
14	中国特許	アロフェン膜複合体の製造方法	ZL201880 058938. 5	3. 12. 17		
15	特許	高強度超高分子量ポリエチレン成形体及びその製造方法	7005867	4. 1. 11	大森和宏 山畑雅之 協栄産業(株)	分子配向構造を有する超高分子量ポリエチレン成形体とその製造方法を提供する。本手法から得られる成形体は、高強度で、高い摺動性等を有するため、摺動部品や機械部品等としての応用が期待できる。

(2) 出願中の産業財産権 (特許 1 件)

No	区分	名称	出願番号	出願年月日	発明・考案者	内容
1	特許	大麦の糠を含む膨化食品及びその製法	2023- 210576	5. 12. 13		出願公開待ちにつき、未掲載

12 来所者数

来所者数 13,839 人

月 部署	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
本所	546	566	666	742	738	1,136	1,042	658	666	446	534	553	8,293
技術支援 センター	350	675	635	452	309	663	630	531	288	341	297	375	5,546
繊維	60	34	33	58	33	40	29	46	26	35	32	24	450
県南	54	71	55	49	34	63	73	86	75	36	49	93	738
紬織物	126	466	440	195	122	398	344	216	80	97	83	132	2,699
窯業	110	104	107	150	120	162	184	183	107	173	133	126	1,659
計	896	1,241	1,301	1,194	1,047	1,799	1,672	1,189	954	787	831	928	13,839

13 加入学会等

No	名 称	会員区分	所 在 地
1	北関東産官学研究会	賛助会員	群馬県桐生市織姫町 2-5 桐生地域地場産業振興センター内
2	(公社) 精密工学会	賛助会員	東京都千代田区九段北 1-5-9 九段誠和ビル 2 階
3	(一社) 日本機械学会	特別員	東京都新宿区新小川町 4 番 1 号 KDX 飯田橋スクエア 2 階
4	(一社) 電子情報通信学会	特殊員	東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
5	(公社) 高分子学会	賛助会員	東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6 階
6	(公社) 日本化学会	公共会員	東京都千代田区神田駿河台 1-5
7	(公財) 日本セラミックス協会	特別会員	東京都新宿区百人町 2-22-17
8	(一社) 表面技術協会	団体会員	東京都千代田区神田岩本町 4-9 トゥルム神田ビル 2 階
9	(一社) 日本接着学会 構造接着・精密接着研究会	団体会員	神奈川県横浜市都筑区中川中央 1-28-22-201
10	(公社) 日本食品科学工学会	団体会員	茨城県つくば市観音台 2-1-12 農研機構 食品研究部門内
11	(公社) 日本農芸化学会	団体会員	東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 2 階
12	(公財) 日本醸造協会	正会員	東京都北区滝野川 2-6-30
13	全国食品関係試験研究場所長会	一般会員	茨城県つくば市観音台 2-1-12 農研機構 食品研究部門内
14	(一社) 繊維学会	購読会員	東京都品川区上大崎 3-3-9-208
15	(一社) 日本繊維機械学会	賛助会員	大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センタービル 6 階
16	無機マテリアル学会	公共会員	東京都新宿区西新宿 7-13-5

14 講師・審査員・委員等の派遣

関係業界、他機関からの要請により、講師、審査員、委員等を派遣した。

(1) 講師派遣

主催者	内容	期日	場所又は開催方式	出席者
栃木県プラスチック工業振興会	第35回定例総会 講演	6. 5. 10	日光市	小坂忠之
	初歩のプラスチック講座	6. 6. 19	佐野市	伊藤繁則 八丁佳功 永島彩乃 松崎勉
佐野高等学校	地域リーダーズシンポジウム	6. 6. 6	佐野市	佐伯和彦
絹義務教育学校	ふるさと学習「煮繭、真綿かけ」	6. 7. 9	小山市	赤羽輝夫
	ふるさと学習「管まき・地機織り」	6. 11. 11		太田仁美
	ふるさと学習「コサージュ制作」	6. 11. 29 6. 12. 3 6. 12. 6 6. 12. 10		
	ふるさと学習「糸つむぎ」	7. 1. 28		
かさましこ日本遺産活性化協議会	「お助け学習」教室（釉薬の不思議）	6. 7. 30	益子町	磯部大我 松本健一
栃木県酒造組合	令和6年度栃木県酒造従業員研修会	6. 10. 8	宇都宮市	岡本竹己
(公財)とちぎ男女共同参画財団	若者のキャリアデザイン講座（帝京大学）	6. 10. 17	宇都宮市	近藤弘康
栃木県味噌醤油技術会	令和6年度栃木県味噌鑑評会技術研究会	6. 11. 14	宇都宮市	古口久美子
小山市	小山中学校本場結城紬体験学習	7. 1. 24	小山市	金子優

(2) 審査員派遣

主催者	内容	期日	場所又は開催方式	出席者	
新潟県酒造組合・新潟酒造技術研究会	越後流酒造技術選手権大会	6. 4. 2 ～6. 4. 3	新潟県 新潟市	筒井達也	
(一社) 南部杜氏協会	第 105 回南部杜氏自醸清酒鑑評会 (第一審)	6. 4. 2 ～6. 4. 3	岩手県 花巻市	岡本竹己	
(一社) 栃木県発明協会	令和6年度地方発明表彰応募技術評価会	6. 4. 8	書面開催	菊池薫	
本場結城紬検査協同組合	審査委員会	6. 4. 16 6. 6. 11 6. 8. 20 6. 9. 17 6. 10. 15 6. 11. 5 7. 1. 21 7. 2. 25 7. 3. 18	茨城県 結城市	樋口正幸	
		6. 5. 17 6. 7. 16		赤羽輝夫	
栃木クラフトビール推進協議会	クラフトビール品質審査会	6. 6. 4	宇都宮市	筒井達也 郡司崇浩	
(公財) 栃木県産業振興センター	令和6年度世界一を目指す研究開発助成事業審査委員会	6. 6. 11	宇都宮市	菊池薫	
	令和6年度栃木県中小企業等海外出願支援事業助成金審査委員会	6. 7. 4 6. 9. 10		宮間浩一	
	とちぎグリーン成長産業創出支援基金事業審査委員会	6. 7. 8 7. 3. 7		阿久津智美	
	令和6年度フードバレーとちぎ農商工ファンド審査委員会	6. 7. 16 6. 11. 5	宇都宮市 書面開催	渡部篤彦	
	令和6年度脱炭素化技術育成支援事業審査委員会	6. 7. 23 7. 1. 16		宇都宮市	宮間浩一
	令和6年度サポートユアビジネス事業審査委員会	6. 8. 27 7. 2. 5			渡部篤彦
	令和6年度とちぎ未来チャレンジファンド審査委員会	6. 9. 5 6. 12. 24			
宇都宮市	令和6年度宇都宮市宇宙ビジネス認定事業補助金審査会	6. 6. 20	書面開催	渡部篤彦	
	令和6年度宇都宮市トライアル発注認定事業審査会	6. 8. 21	宇都宮市		
(公財) 栃木県学校給食会	令和6年度第1回学校給食用パン品質審査会	6. 6. 28 6. 10. 11 7. 1. 24	宇都宮市	金田治彦	
栃木県酒造組合	令和6年度栃木県合同初呑切り研究会	6. 8. 2	宇都宮市	筒井達也 岡本竹己 郡司崇浩	
	第59回栃木県清酒鑑評会審査会	6. 9. 12		筒井達也 岡本竹己	
	令和6酒造年度吟醸酒研究会	7. 3. 11		筒井達也 岡本竹己 郡司崇浩	
秋田県酒造組合	秋田県清酒品評会	6. 9. 5 ～6. 9. 6	秋田県 秋田市	筒井達也	
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会	伝統工芸士更新試験	6. 9. 26	小山市	樋口正幸	

関東信越国税局	第 95 回関東信越国税局酒類鑑評会 品質評価会(第一審)	6. 10. 3 ~6. 10. 4	埼玉県 さいたま市	筒井達也
	第 95 回関東信越国税局酒類鑑評会 品質評価会(第二審)	6. 10. 9		
栃木県味噌醤油技術 会	令和 6 年度栃木県味噌鑑評会審査会	6. 10. 11	宇都宮市	阿久津智美 仁平淳史 古口久美子
大学コンソーシアムと ちぎ	第 21 回学生&企業研究発表会 分野 別発表会	6. 11. 15	Web 開催	加藤栄
	第 21 回学生&企業研究発表会 最優 秀賞選考会	6. 11. 30	宇都宮市	菊池薫
栃木県本場結城紬織 物協同組合	栃木県本場結城紬織物展示会作品 展審査	6. 11. 15	小山市	樋口正幸 金子優 太田仁美
全国食品関係試験研 究場所長会	令和 6 年度優良研究・指導業績表彰 審査委員会	6. 11. 29 ~6. 12. 3	書面開催	菊池薫
(一社) 栃木県溶接協 会	栃木県溶接技術競技会 X 線試験判定 会議	6. 12. 19	宇都宮市	石川信幸 石原島弘明
	栃木県溶接技術競技会曲げ試験判 定会議	7. 1. 23		
	栃木県溶接技術競技会最終判定会 議	7. 1. 30		枝野龍之 石川信幸
(一社) 全国地ビール 醸造者協議会	全国地ビール品質審査会 2025	7. 3. 5 ~7. 3. 6	広島県 東広島市	筒井達也
埼玉県産業技術総合 センター北部研究所	令和 6 酒造年度春季清酒鑑評会審査 会	7. 3. 18	埼玉県 熊谷市	筒井達也
茨城県酒造組合	令和 6 年度茨城県吟醸酒出品研究会	7. 3. 19	茨城県 茨城町	筒井達也
群馬県醸衆会	令和 6 酒造年度吟醸酒品質研究会	7. 3. 25	群馬県 前橋市	筒井達也

(3) 委員等の派遣

主催者	内容	期日	場所又は開催方式	出席者
ROBOMECH2024 実行委 員会	実行委員会	6. 4. 3 6. 4. 24	宇都宮市 Web 開催	柳田治美
益子町観光協会	陶器市実行委員会	6. 4. 10 6. 10. 8 7. 2. 20	益子町	山越洋一 松本健一
益子焼関係団体振興 協議会	定例協議会	6. 4. 11 6. 6. 6 6. 7. 4 6. 8. 8 6. 9. 5 6. 10. 10 6. 11. 7 6. 12. 5 7. 1. 9 7. 2. 6 7. 3. 6	益子町	山越洋一 松本健一 小林渡
	総会	6. 6. 6		
栃木県本場結城紬織 物協同組合	理事会	6. 4. 18 6. 7. 4 6. 10. 10 7. 3. 13	小山市	樋口正幸

本場結城紬技術保持会	総会	6. 5. 13	茨城県 結城市	樋口正幸
	役員会	7. 3. 3		
(公財) 重要無形文化財結城紬技術保存会	監査	6. 5. 14	茨城県 結城市	佐藤美佐子
	理事会	7. 2. 28	書面開催	
益子町	益子町文化のまちづくり実行委員会	6. 5. 28	益子町	山越洋一
(公財) 栃木県学校給食会	令和6年度品質管理委員会	6. 6. 18 6. 10. 17 7. 2. 13	宇都宮市	阿久津智美 金田治彦 阿久津智美
	学校給食用食品製造工場視察研修	6. 12. 11 ~6. 12. 12	山形県 東根市、 寒河江市、 山形市	阿久津智美
	令和6年度栃木県学校給食用パン委託加工工場選定委員会並びに令和5年度栃木県学校給食用炊飯委託業者選定委員会	7. 2. 14	宇都宮市	金田治彦
小山市	小山きもの日実行委員会	6. 6. 26 7. 3. 11	小山市	樋口正幸
	小山きもの日式典	6. 11. 16		菊池薫 樋口正幸
(一社) 栃木県溶接協会	溶接技能者評価試験	6. 6. 29	宇都宮市	石川信幸 石原島弘明
		6. 10. 12		石原島弘明
	栃木県溶接技術競技会	6. 11. 9		枝野龍之 石川信幸 石原島弘明
佐野市工業振興対策協議会	令和6年度総会	6. 7. 3	佐野市	小坂忠之
あしかが産学官連携推進センター	運営協議会	6. 7. 9	足利市	植竹大輔
栃木県職業能力開発協会	令和6年度前期技能検定試験(清酒製造)	6. 7. 13	宇都宮市	阿久津智美 仁平淳史 筒井達也 岡本竹己 古口久美子 郡司崇浩
栃木県酒造組合	下野杜氏資格認証委員会	6. 11. 8	宇都宮市	菊池 薫
(公社) 栃木県観光物産協会	第24回とちぎ特産品審査委員会	7. 2. 26	宇都宮市	金井悠輔

15 会議・学会等への参加及び報道機関での紹介

産業技術連携推進会議、学会、他機関が開催する会議、セミナー、展示会等へ参加し、技術情報の交換収集及び他機関との連携推進を行った。また、研究等の成果の発表や投稿、新聞・テレビ等での紹介により、当センターの活動を外部へ発信した。

(1) 産業技術連携推進会議関係

会議名	期日	場所又は開催方式	出席者
ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 関東・東北地域連絡会 総会	6. 5. 24	Web 開催	佐瀬文彦
情報通信エレクトロニクス部会 地域交流ワークショップ	6. 5. 29	宇都宮市	植竹大輔
第 22 回産総研・産技連 LS-BT 合同研究発表会	6. 6. 19	Web 開催	古口久美子
ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 総会	6. 6. 20	福井県 福井市	佐瀬文彦
第 1 回関東甲信越静地域部会 企画調整分科会	6. 7. 1	Web 開催	渡部篤彦 小池宏侑
関東甲信越地区食品醸造研究会	6. 7. 26	Web 開催	阿久津智美 仁平淳史 筒井達也 岡本竹己 古口久美子 郡司崇浩
関東甲信越静地域部会 第 5 回関東技術交流分科会	6. 8. 28	宇都宮市	宮間浩一 枝野龍之 加藤栄 阿久津智美 柳田治美 小池宏侑
ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 繊維技術研究会 (関東・東北地域連絡会 生産・測定技術研究会と併催)	6. 10. 3 ~6. 10. 4	新潟県 十日町市	井田恵司
第 2 回関東甲信越静地域部会 企画調整分科会	6. 10. 8	Web 開催	渡部篤彦 柳田治美 小池宏侑
ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会 第 71 回総会	6. 10. 10	三重県 四日市市	松本健一
情報通信・エレクトロニクス部会情報技術分科会 第 17 回音・振動研究会	6. 10. 17	島根県 松江市 (web 参加)	高岩徳寿
ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会 第 55 回デザイン担当者会議	6. 10. 23 ~6. 10. 24	滋賀県 甲賀市	星佳宏 小林渡
関東甲信越静地域産業技術連携推進会議、関東甲信越静地域部会 合同総会	6. 10. 30	千葉県 柏市	菊池薫 柳田治美 小池宏侑
ナノテクノロジー・材料部会 第 62 回高分子分科会	6. 10. 31 ~6. 11. 1	北海道 札幌市	八丁佳功
関東甲信越静地域部会 第 6 回関東技術交流分科会	6. 11. 14	神奈川県 海老名市	小池宏侑
ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 デザイン研究会	6. 11. 14 ~6. 11. 15	岐阜県 関市	島田千花子
製造プロセス部会 IoT ものづくり分科会 2024	6. 12. 10	愛知県 刈谷市 (web 参加)	高岩徳寿

知的基盤部会 計測分科会	6. 12. 11 ~6. 12. 13	大分県 大分市	片岡智史
知的基盤部会 2024 年度計測分科会 形状計測研究会	6. 12. 12	Web 開催	曾田将来 岡村弘太
第 65 回産業技術連携推進会議 総会	7. 1. 21	東京都 千代田区 (Web 参加)	菊池薫 柳田治美 小池宏侑
知的基盤部会電磁環境分科会 第 22 回関東甲信越静 EMC 研究交流会	7. 2. 7	東京都 江東区	岡英雄 松本健司
ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会 第 59 回セラミックス技術担当者会議	7. 2. 12	愛知県 名古屋市 (Web 参加)	星佳宏
第 3 回関東甲信越静地域部会 企画調整分科会	7. 2. 21	Web 開催	柳田治美 阿久津知宏
関東甲信越静地域部会関東技術交流分科会 第 4 回幹事会	7. 2. 21	Web 開催	柳田治美 阿久津知宏

(2) 学会関係

学会等名	期日	場所又は開催方式	出席者
ロボティクス・メカトロニクス 講演会 2024 in Utsunomiya	6. 5. 29	宇都宮市	菊池薫 宮間浩一 渡部篤彦 柳田治美 小池宏侑 阿久津知宏 枝野龍之 石川信幸 近藤弘康 荒井辰也 山下健介 水撤文剛 石原島弘明 島田智 坂本憲弘 藤沼誠人 鯉沼将大 岡英雄 上野貴明 高岩徳寿 松本健司
2024 年度砥粒加工学会学術講演会	6. 8. 26 ~6. 8. 27	新潟県 長岡市	小池宏侑 近藤弘康
日本調理科学会 2024 年度大会	6. 9. 6 ~6. 9. 7	神奈川県 鎌倉市	益子朱音
機械学会第 15 回生産加工・工作機械部門講演会	6. 10. 4 ~6. 10. 5	福島県 郡山市	植竹大輔 曾田将来 岡村弘太
令和 6 年度日本醸造学会大会	6. 10. 8	東京都 北区	筒井達也
ICPE2024 (The 20th International Conference on Precision Engineering)	6. 10. 24 ~6. 10. 26	宮城県 仙台市	近藤弘康
無機マテリアル学会 第 33 回講習会	6. 12. 17	東京都 新宿区	飯塚一智
日本セラミックス協会 2025 年年会	7. 3. 5 ~7. 3. 6	静岡県 浜松市	湯澤修孝 永島彩乃

(一社) 表面技術協会 第 151 回講演大会	7. 3. 12 ~ 7. 3. 13	東京都 世田谷区	中田あゆ美 小林愛雲
精密工学会 2025 年度精密工学会春季大会学術講演会	7. 3. 17 ~7. 3. 19	千葉県 習志野市	近藤弘康

(3) 各種会議

会議名	期日	場所又は開催方式	出席者
下野杜氏新酒発表 2024 (東京) 酒造組合事業	6. 4. 10	東京都 品川区	菊池薫 阿久津智美 仁平淳史 岡本竹己
関東甲信越クラフトビアカンファレンス 2024	6. 4. 23	埼玉県 さいたま市	筒井達也 郡司崇浩
とちぎ産業振興協議会 定期総会 とちぎ未来技術フォーラム 幹事会	6. 5. 14	宇都宮市	菊池薫 宮間浩一 渡部篤彦 枝野龍之 加藤栄 柳田治美 五月女英平 小池宏侑 山畑雅之 阿久津知宏
本場結城紬検査協同組合 役員会	6. 5. 14 6. 11. 29	茨城県 結城市	樋口正幸
栃木県菓子工業組合 第 62 回総代会	6. 5. 15	宇都宮市	阿久津智美 金田治彦
栃木県本場結城紬織物協同組合 総会	6. 5. 16	小山市	樋口正幸
(一社) 栃木県食品産業協会 第 32 回通常総会	6. 5. 24	宇都宮市	菊池薫 阿久津智美
栃木県酒造組合 第 71 回通常総会	6. 5. 27	宇都宮市	菊池薫 阿久津智美 仁平淳史
令和 6(2024)年度フードバレーとちぎ推進協議会 総会	6. 5. 27	宇都宮市	宮間浩一 渡部篤彦 阿久津智美 金田治彦 金井悠輔 伊藤和子 仁平淳史 筒井達也 郡司崇浩
本場結城紬検査協同組合 総会	6. 5. 29	茨城県 結城市	樋口正幸
令和 5 酒造年度全国新酒鑑評会 製造技術研究会	6. 5. 30	広島県 東広島市	筒井達也 郡司崇浩
小山市本場結城紬振興調査推進協議会 総会	6. 6. 25	小山市	赤羽輝夫
栃木県味噌醤油技術会 第 2 回役員会	6. 6. 28	宇都宮市	古口久美子
全国食品関係試験研究所長会 令和 6 年度第 1 回役員会	6. 7. 5	web 開催	菊池薫 阿久津智美

とちぎ職業人材カレッジネットワーク会議	6. 7. 5	宇都宮市	阿久津知宏
全国食品関係試験研究場所長会 令和6年度第1回臨時総会	6. 7. 12 ~6. 7. 19	書面開催	菊池薫
IoT, AI 等による中堅・中小企業の競争力強化に関する研究会	6. 8. 9	Web 開催	島田智
	6. 11. 15	茨城県 つくば市	島田智 岡英雄
	7. 3. 18	Web 開催	島田智
栃木県杜氏研修会視察研修	6. 8. 26	茨城県 日立市、 水戸市	筒井達也 岡本竹己 郡司崇浩
佐野市技能検定合格者顕彰式	6. 9. 3	佐野市	小坂忠之
(一社) 栃木県食品産業協会運営委員会	6. 9. 17	宇都宮市	阿久津智美
令和6(2024)年度栃木県農業総合研究センター麦類専門検討会	6. 10. 1	web 開催	筒井達也
第69回全国酒造技術指導機関合同会議	6. 10. 10	東京都 千代田区	仁平淳史
小山市本場結城紬振興調査推進協議会 小山市未来継承分科会	6. 10. 28 7. 3. 5	小山市	赤羽輝夫
第64回首都圏公設試連携推進会議(TKF)	6. 10. 30	千葉県 柏市	菊池薫 柳田治美 小池宏侑
第4回広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)連携会議	6. 10. 30	千葉県 柏市	菊池薫 柳田治美 小池宏侑
第95回関東信越国税局酒類鑑評会表彰式及び技術研究会	6. 11. 14	埼玉県 さいたま市	阿久津智美 筒井達也 郡司崇浩
令和6年度栃木県味噌鑑評会表彰式	6. 11. 14	宇都宮市	宮間浩一 仁平淳史 古口久美子
第59回栃木県清酒鑑評会表彰式	6. 11. 25	宇都宮市	菊池薫 阿久津智美 岡本竹己
第9回地方公設試験研究機関 金属 AM 技術担当者会議	6. 12. 18	東京都 特別区	藤沼誠人
佐野市産業振興貢献企業賞贈呈式	7. 1. 15	佐野市	植竹大輔
全国食品関係試験研究場所長会 令和6年度第2回役員会、令和6年度定期総会・表彰式	7. 2. 14	茨城県 つくば市	菊池薫 阿久津智美
農研機構食品研究部門 令和6年度食品試験研究推進会議	7. 2. 14	茨城県 つくば市	菊池薫 阿久津智美
栃木県漬物工業協同組合 第61回通常総会	7. 3. 11	宇都宮市	阿久津智美 金田治彦 金井悠輔
とちぎ医療福祉機器産業振興協議会プロジェクト推進会議	7. 3. 24	web 開催	加藤栄

本場結城紬振興協議会	7. 3. 28	書面開催	樋口正幸
------------	----------	------	------

(4) セミナー・展示会関係

セミナー・展示会等名	期日	場所又は開催方式	出席者
微生物（細菌・酵母・カビ）取り扱いの基礎とポイント～分離・培養・同定～	6. 4. 19	東京都千代田区	郡司崇浩
試料作製の技術を基礎から学ぶ：試料作製入門ウェビナー（埋込編）	6 . 5. 24	Web 開催	曾田将来
FOOMA JAPAN 2024	6. 6. 5	東京都江東区	古口久美子
WEB セミナー：表面粗さ測定機 表面粗さ測定機の正しい使い方	6 . 6. 11	Web 開催	曾田将来
ものづくりワールド東京	6. 6. 19	東京都江東区	八木澤秀人
群馬県繊維工業試験場講演会「デザイン系専門学校の役割と展望」	6. 6. 28	群馬県桐生市	島田千花子
あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター「繊維技術セミナー」	6. 7. 5	Web 開催	金子優
タンガロイ切削技術講習会	6. 7. 10 ～6. 7. 11	宇都宮市、 小山市	水取文剛
WEB セミナー：三次元測定機 三次元測定機の正しい使い方	6 . 7. 17	Web 開催	曾田将来
試料作製の技術を基礎から学ぶ：試料作製入門ウェビナー（研磨編）	6 . 7. 19	Web 開催	曾田将来
NEDO 講座 「マルチマテリアル構造技術及び構造材料の開発技術者養成に係る特別講座」接着試験法基礎講座	6. 7. 19	Web 開催	加藤栄 小林愛雲
	7. 1. 27		小林愛雲
学校給食フェア	6. 7. 25	宇都宮市	益子朱音
食品品質保持技術研究会講演会	6. 8. 5	Web 開催	金田治彦
AE 計測×信号灯のW効果で設備の見える化を加速させるセミナー	6. 8. 29	Web 開催	荒井辰也 棚原貴登 山下健介
(一社) 日本繊維機械学会 テキスタイルカレッジ「織物」	6. 9. 19	Web 開催	島田千花子
第5回宇都宮大学コラボレーションフェア	6. 9. 20	宇都宮市	菊池薫 宮間浩一 渡部篤彦 柳田治美 小池宏侑 阿久津知宏 近藤弘康 棚原貴登 山下健介 石原島弘明 八木澤秀人 片岡智史 岡英雄 高岩徳寿 松本健司 加藤栄

			大森和宏 中田あゆ美 大和弘之 飯塚一智 阿久津智美 金井悠輔 伊藤和子 仁平淳史 筒井達也 井田恵司 小坂忠之 伊藤繁則 永島彩乃 松崎勉 岡村弘太
感覚測定入門ワークショップ	6. 9. 21	東京都 世田谷区	益子朱音
群馬県繊維工業試験場講演会 「繊維産業の海外展開に向けたブランディングの強化」	6. 9. 24	群馬県 桐生市	島田千花子
第34回全国産業教育フェア栃木大会	6. 10. 26 ~6. 10. 27	宇都宮市	柳田治美 小池宏侑 阿久津知宏
群馬県繊維工業試験場講演会 「有機フッ素化合物(PFAS)の規制動向および非フッ素系加工剤の紹介」	6. 10. 30	群馬県 桐生市	井田恵司 島田千花子
高機能材料 week	6. 10. 31	千葉県 千葉市	石原島弘明
食品品質保持技術研究会 基礎講座	6. 11. 7	Web 開催	金井悠輔 益子朱音
JIMTOF2024 (第32回日本国際工作機械見本市)	6. 11. 7	東京都 江東区	近藤弘康 荒井辰也 石原島弘明
	6. 11. 8		植竹大輔 曾田将来 岡村弘太
神奈川県産業技術総合研究所「IoTフォーラム」	6. 11. 13	神奈川県 海老名市 (web参加)	高岩徳寿
和洋菓子講習会	6. 11. 13	宇都宮市	益子朱音
群馬県繊維工業試験場講演会 「繊維製品に付加価値を！仕上げ加工剤の現状と課題」	6. 11. 20	群馬県 桐生市	佐瀬文彦 井田恵司 島田千花子
ものづくり企業展示・商談会 2024	6. 11. 21	宇都宮市	菊池薫 宮間浩一 渡部篤彦 柳田治美 小池宏侑 阿久津知宏 島田智 藤沼誠人 岡英雄 中田あゆ美 男澤嶺 小坂忠之 植竹大輔

パルステックウェビナー「実鋼構造物の残留応力測定事例紹介」	6. 11. 22	Web 開催	棚原貴登
令和6酒造年度酒造講話会	6. 11. 26	Web 開催	筒井達也
アグリビジネス創出フェア 2024	6. 11. 26 ~6. 11. 28	東京都 江東区	金田治彦 金井悠輔 古口久美子
令和6年度 第2回食のサーキュラーエコノミー普及セミナー	6. 11. 28	埼玉県 熊谷市	仁平淳史 筒井達也
群馬県分析研究会 第49回研究発表会	6. 12. 4	群馬県 前橋市	小坂忠之 伊藤繁則 永島彩乃
NEDO 講座 第1回「廃プラスチックの高度物性再生の開発技術者養成に係る特別講座」	6. 12. 4 ~6. 12. 5	Web 開催	加藤栄 大森和宏 小林愛雲
群馬大学 第125回複合材料懇話会	6. 12. 9	群馬県 桐生市	大森和宏 大和弘之
食文化セミナー	6. 12. 13	宇都宮市	阿久津智美 金田治彦 伊藤和子 郡司崇浩
やさしい食品のテクスチャー測定講習会	6. 12. 13	東京都 文京区	益子朱音
NEDO 講座 第2回「廃プラスチックの高度物性再生の開発技術者養成に係る特別講座」	6. 12. 24	Web 開催	大森和宏 小林愛雲
味香り戦略研究所セミナー「味・におい・食感感性分析サービス徹底活用解説！」	7. 1. 9	Web 開催	益子朱音
栃木産業人クラブ・日本機械学会関東支部栃木ブロック交流会	7. 1. 20	足利市	大和弘之
機能性表示食品 GMP 指針を踏まえた分析試験の導入とデータ管理のポイント	7. 1. 21	神奈川県 川崎市	伊藤和子
NEDO 講座 第3回「廃プラスチックの高度物性再生の開発技術者養成に係る特別講座」	7. 1. 22	Web 開催	小林愛雲
電気用品安全法における電磁雑音規制等の改正動向（令和6年版）	7. 1. 23	三重県 津市 (web 参加)	荒山薫
LC と GC の基礎～食品分析編～	7. 1. 23 7. 1. 28	Web 開催	筒井達也 益子朱音 郡司崇浩
nano tech 2024	7. 1. 29 7. 1. 30	東京都 江東区	伊藤繁則 永島彩乃
テクニカルショウヨコハマ 2025/第16回振動技術展	7. 2. 7	神奈川県 横浜市	高岩徳寿
スーパーマーケット・トレードショー2025	7. 2. 14	千葉県 千葉市	仁平淳史
宇都宮ユニークソリューションフェア	7. 2. 19	宇都宮市	荒井辰也
食品安全講演会	7. 2. 19	宇都宮市	岡本竹己
サーキュラーエコノミーEXPO	7. 2. 19 7. 2. 21	東京都 江東区	松崎勉 佐伯和彦
NEDO 講座 第4回「廃プラスチックの高度物性再生の開発技術者養成に係る特別講座」	7. 2. 20 ~7. 2. 21	Web 開催	小林愛雲

構造接着・精密接着研究会 2024年度 第1回見学会	7. 2. 26	神奈川県 横浜市	和氣吉希
岡山県工業技術センター「第27回岡山振動音響技術研究会」	7. 2. 27	岡山県 岡山市 (web参加)	高岩徳寿
パルステックウェビナー「ショットピーニング処理の基礎と材料強度」	7. 3. 4	Web開催	棚原貴登
フードメタボロミクスによる新しい品質(おいしさ)評価法	7. 3. 6	Web開催	金井悠輔
令和6年度佐野市工業振興対策協議会研修会	7. 3. 7	佐野市	小坂忠之 佐伯和彦 松崎勉 植竹大輔
第75回プラスチックフィルム研究会講座 -エネルギー・環境に貢献するプラスチックフィルム-	7. 3. 12	東京都 目黒区	男澤嶺
FOODEX JAPAN 2025	7. 3. 12	東京都 江東区	金井悠輔
食品品質保持技術研究会	7. 3. 26	Web開催	金田治彦 岡本竹己

(5) 学会等発表

テーマ名	期日	講演会名等	発表者
ファインバブルを含有した研削液を用いた光学ガラスの研削加工における吸気量の影響	6. 8. 27	2024年度砥粒加工学会学術講演会	小池宏侑
二軸エクストルーダーによる大麦未利用部位活用法の検討	6. 8. 29 ~ 6. 8. 31 (講演要旨 公開による 発表)	日本食品科学工学会 第71回大会	金井悠輔 阿久津智美 岡本竹己 鎌田直 1) 上武裕 1) 青木隆 1) 1) 榊 大麦工 房ロア
漬物の高付加価値化のための研究開発			阿久津智美
チタン合金のエンドミル加工におけるMQL供給システムの開発			近藤弘康
立壁切削加工におけるAEセンサを用いた工具欠損状態監視			棚原貴登
AEセンサを用いた研削加工状態の推定			山下健介
切削加工音による工具摩耗状態の推定に関する研究			石原島弘明
樹脂3Dプリンタ造形物の表面仕上げ技術の開発			八木澤秀人
三次元測定機の測定方向による測定値の変動について	6. 9. 20	第5回宇都宮大学コラボレーションフェア ポスターセッション	片岡智史
目視検査のエビデンス取得に関する研究			松本健司
超小型衛星の評価試験に関する研究			岡英雄
未利用バイオマス資源を活用した防錆フィルムの研究開発			大森和宏
酸化セリウムナノ粒子分散ゼオライトを用いた透明樹脂用紫外線遮蔽材の開発			飯塚一智
原料改質による米粉製品の老化抑制技術の開発			金井悠輔
二軸エクストルーダーによる大麦未利用部位活用法の検討			金井悠輔

シイタケの味・香り・食感の分析方法の確立とおいしさの見える化			伊藤和子
栃木県産日本酒の酒質に関する研究			筒井達也
ポリ乳酸繊維の捺染条件に関する研究			井田恵司
プラスチックへの銀導電膜作製に関する研究			永島彩乃
高圧水素用ステンレス鋼のドリル加工におけるばり抑制手法の開発			岡村弘太
工具送り速度制御によるステンレス鋼の穴出口バリの抑制	6.10. 4 ~6.10. 5	機械学会第15回生産加工・工作機械部門講演会	岡村弘太
Effect of minimum quantity lubrication on cutting force in shoulder milling of titanium alloy	6.10.24 ~6.10.26	ICPE2024 (The 20th International Conference on Precision Engineering)	近藤弘康
二軸エクストルーダーによる大麦未利用部位活用法の検討	6.11. 1	農研機構食品研究成果展示会 2024	金井悠輔 阿久津智美 岡本竹己 鎌田直 1) 上武裕 1) 青木隆 1) 1) (株)大麦工房ロア
二軸エクストルーダーによる大麦未利用部位活用法の検討	6.11.26 ~6.11.28	アグリビジネス創出フェア 2024	金井悠輔 阿久津智美 岡本竹己 鎌田直 1) 上武裕 1) 青木隆 1) 1) (株)大麦工房ロア

(6) 新聞、テレビ等での報道

記事名	報道日	新聞・テレビ等名称
益子・県窯業技術支援センター 陶芸取得へ16人が入所	6. 4. 9	下野新聞
未利用食品の活用促進 支援拠点を今秋整備	6. 4. 19	下野新聞
週間しもつけ No. 647 「子どもタイムズ」 教えてとちぎの伝統工芸品 (4) 結城紬	6. 4. 23	下野新聞
私たちが繋ぐ、世界に認められた伝統的工芸品	6. 6. 12	地域のヒントを探 すウェブマガジン 「FOCALS」
県産紅はるかで芋焼酎 高級品種の残渣活用 壮関と白相酒造 今週にも販売	6. 6. 19	下野新聞
とちぎ 630 絹義務教育学校ふるさと学習「煮繭、真綿かけ」	6. 7. 9	NHK
県産業技術センター 未利用食品活用支援拠点が完成 開所見学会に50人	6. 7. 12	下野新聞
【栃木県民マンガ】 負けるな！ギョーザランド!! 第10回 栃木の伝統工芸品は 茨城にルーツ!? (結城紬、益子焼)	6. 7. 13	小学館「小説丸」
しもつけピタッとラジオ 結城紬と「糸つむぎ講習会」について	6. 7. 26	FM ゆうがお
「かさましこ」で自由研究 益子・夏休みコンテスト テーマ設定へお助け学習	6. 8. 2	下野新聞
12歳元69点品質を確認 県酒造組合「初呑み切り」	6. 8. 4	下野新聞
情報7days ニュースキャスター 食品劣化加速装置 ※食品保存試験の再現イメージ撮影に協力	6. 8. 23	TBS テレビ
大麦ぬか使いスナック菓子 食品ロス減、健康食品創出 特許出願、商品化目指す 大麦工 房ロアと県産技センター	6. 9. 11	下野新聞
長ノズルで微量切削液 チタン合金用工具 長寿命化	6. 9. 26	日刊工業新聞
開発支援の拠点開設 栃木県 食品ロス削減狙う 摘果果実・規格外を食品に	6. 10. 6	日本農業新聞
伝統の結城紬と現代融合 個性的な着こなしで魅了	6. 11. 22	下野新聞
とちぎ 630 児童たちが「結城紬」の伝統技法でコースター作り 小山	6. 11. 25	NHK
食品開発の成果を発表 フードバレー 宇都宮で来月	7. 1. 22	下野新聞
織り手2人の結城紬展	7. 1. 23	下野新聞
とちぎ 630 伝統の結城紬 小学生が「糸つむぎ」学ぶ特別授業	7. 1. 29	NHK
伝統の糸つむぎに挑戦 小山 絹義務教育学校の4年生	7. 1. 29	下野新聞
県産技センター成果発表会 持続可能な食品開発へ 参加8者が試作品提供	7. 2. 19	下野新聞
益子焼の研究生ら、登り窯で作品焼成 夜通し作業、伝統技術学ぶ	7. 3. 2	下野新聞
とちぎ 630 益子町 陶芸家を目指す生徒が集大成の作品 窯出し	7. 3. 4	NHK

集大成の登り窯焼成 11～16日・成果披露へ	7. 3. 7	もおか新聞 Plus
とちぎ 630 「紬織物技術支援センター」で「結城紬」研修生の修了式	7. 3. 13	NHK
県窯業技術支援センター 1年間の集大成修了作品展開幕	7. 3. 13	下野新聞
結城紬に39年ぶり新メンバー 機織りの川端さん キャリアチェンジし「憧れ」の世界に	7. 3. 14	下野新聞

(7) 投稿

テーマ名	掲載年月	学会誌・雑誌等名称	投稿者
BI ツール・RPA ツール等を活用したデータ収集・可視化及び定型作業自動化の検討	6. 5	産業情報とちぎ (No. 413) 研究レポート 技術の窓	機械電子技術部
陶器用の粘土をつくる			窯業技術支援センター
栃木県産イチゴの加工条件による味・香り成分等の把握と見える化	6. 6	食品と容器 (Vol. 65, 2024)	阿久津知宏
高濃度セルロース繊維複合樹脂の射出成形における成形条件が外観、物性に及ぼす影響	6. 7	型技術	小林愛雲 渡辺克人
高圧水素用ステンレス鋼のドリル加工におけるバリ抑制手法の開発	6. 7	産業情報とちぎ (No. 414) 研究レポート 技術の窓	県南技術支援センター
冷凍食品のおいしさを支える凍結技術			食品技術部
高濃度セルロース繊維複合樹脂の射出成形における成形条件が外観、物性に及ぼす影響	6. 8	月刊 JETI	小林愛雲 渡辺克人
県産イチゴの加工条件による味・香り成分等の把握と見える化			阿久津知宏
産業技術センターの新たな取り組み	6. 8	とちぎ菓子だより 第59号	阿久津智美
酸化セリウムナノ粒子分散ゼオライトを用いた透明樹脂用紫外線遮蔽材の開発	6. 9	産業情報とちぎ (No. 415) 研究レポート 技術の窓	材料技術部
ものづくりにおけるリバースエンジニアリングについて			機械電子技術部
SUS316Lのドリル加工におけるバリ抑制手法の開発	6. 9	日刊工業新聞「機械技術」誌 (2024年9月号)	岡村弘太
トウガラシの加工条件による味・香りの変化について 他	6. 11	青果物のおいしさの科学	伊藤和子
超小型衛星の評価試験に関する研究	6. 11	産業情報とちぎ (No. 416) 研究レポート 技術の窓	機械電子技術部
繊維産業における「サステナビリティの取組について」			繊維技術支援センター

栃木県内産地の現状と窯業技術支援センターにおける陶磁器産業支援の取組	6. 12	協会誌セラミックス	星佳宏
ユウガオ果実の食感を活かしたシロップ漬の開発	7. 1	日本政策金融公庫 技術の窓(No. 2691)	阿久津智美
引き揃え糸による緯緋地の開発	7. 1	産業情報とちぎ(No. 417) 研究レポート 技術の窓	紬織物技術支援センター
プラスチックの熱分析～示差走査熱量計(DSC)のご紹介～			材料技術部
栃木県産業技術センターの食品産業支援の取組み	7. 2	食品の試験と研究 第59号	菊池薫
二軸エクストルーダーによる大麦未利用部位活用法の検討			金井悠輔
漬物の高品質・高付加価値化のための研究開発及び技術支援			阿久津智美
三次元測定機の測定方向による測定値の変動について	7. 3	月刊 JETI	機械電子技術部
二軸エクストルーダーによる大麦未利用部位活用法の検討	7. 3	産業情報とちぎ(No. 418) 研究レポート 技術の窓	食品技術部
廃プラスチックのリサイクルについて			県南技術支援センター

Ⅱ 沿革及び組織

1 沿革

○産業技術センター（本所）

昭和 22年 9月	木工業の振興を図るため宇都宮市西原町に栃木県工芸指導所を新設	昭和 25年 4月	栃木県農産食品工業指導所を新設
29年 11月	鹿沼市三幸町に栃木県工芸指導所鹿沼支所を新設	26年 4月	栃木県醸造試験室（昭和5年設置）を統合
40年 7月	栃木県工芸指導所、工芸指導所鹿沼支所を統合し、庶務課、企画意匠部、工芸部、機械金属部の1課3部制とし、鹿沼市白桑田に栃木県工業指導所として発足	28年 4月	栃木県醸造試験所が分離独立
45年 4月	栃木県工業指導所を栃木県中央工業指導所と改称	42年 4月	栃木県農産食品工業指導所を栃木県食品工業指導所に改称
59年 4月	栃木県中央工業指導所を栃木県工業技術センターと改称し、管理部、技術調整部、機械金属部、電子部、意匠工芸部の5部制とする	45年 4月	栃木県醸造試験所を栃木県食品工業指導所に再統合し、庶務課、酒類部、発酵食品部、保蔵食品部、穀類食品部の1課4部制とする
平成 15年 4月	工業6試験研究機関を統合し、宇都宮市刈沼町に栃木県産業技術センターとして発足 管理部、技術交流部、機械電子部、材料技術部及び食品技術部の5部制の本所と、栃木県産業技術センター繊維技術支援センター（旧繊維工業試験場）、栃木県産業技術センター県南技術支援センター（旧県南工業指導所）、栃木県産業技術センター繊維物技術支援センター（旧繊維物指導所）及び栃木県産業技術センター窯業技術支援センター（旧窯業指導所）となる		
25年 3月	土地区画整理事業の換地処分に伴い、平成25年3月23日（土）に住居表示が実施され、郵便番号が「321-3226」に、住所が「宇都宮市ゆいの杜1丁目5番20号」へ変更される		
28年 2月	産業技術センターにマイクロテクノロジーラボを開設		
30年 4月	デジタルものづくり解析・評価支援拠点及び食品試作開発支援拠点を開設		
31年 4月	電磁感受性評価支援拠点を開設		
令和 2年 4月	機能性材料等分析評価支援拠点を開設		
3年 4月	高精度計測支援拠点を開設		
4年 6月	ものづくり企業の試作開発・生産工程変革支援拠点を開設		
5年 4月	スマートマルチマテリアル化支援拠点を開設		
6年 7月	未利用食品等の素材化支援拠点を開設		

○繊維技術支援センター

大正 13年 4月	栃木県工業試験場を足利市に設立		
昭和 12年 11月	佐野分場を開設		
22年 9月	栃木県足利繊維工業試験場と改称 佐野分場独立		
45年 4月	栃木県繊維工業試験場と改称し、庶務課、染色化学部、機織部、メリヤス部、デザイン縫製部の1課4部制となる		
平成 7年 4月	メリヤス部をニット部に改称		
12年 4月	試作工房、開放研究室を開設		
15年 4月	栃木県産業技術センター繊維技術支援センターに名称変更		

○県南技術支援センター

昭和 12年 11月	栃木県工業試験場佐野分場として創設		
22年 11月	栃木県佐野繊維工業試験場として独立		
33年 1月	栃木県石灰工業試験所を創設		
45年 4月	栃木県佐野繊維工業試験場と栃木県石灰工業試験所を統合し、庶務課、化学部、繊維部、機械金属部、石灰部の1課4部制で栃木県県南工業指導所として発足		
56年 4月	石灰部を資源部に名称変更		
平成 12年 4月	試作工房及び開放研究室を整備		
15年 4月	栃木県産業技術センター県南技術支援センターに名称変更		

○繊維物技術支援センター

昭和 28年 2月	栃木県繊維物指導所として福良2192に創設		
47年 3月	現在地、福良2358に新築移転		
平成 15年 4月	栃木県産業技術センター繊維物技術支援センターに名称変更		
平成 31年 2月	福良2358での建替えに伴い、延島1019-1（旧延島小学校）に令和2（2020）年3月末まで仮移転		
令和 2年 4月	繊維物技術支援センター（結城紬一貫生産支援拠点）を新築		

○窯業技術支援センター

明治 36年 4月	益子陶器伝習所（益子陶器同業組合）		
大正 2年 4月	同伝習所を益子町に移管（町立）		
昭和 13年 4月	益子陶器試験所と改称（町立）		
14年 4月	栃木県に移管、栃木県窯業指導所と改称		
44年 3月	試験室、調整室、意匠室、技術者養成室、登り窯を新築		
47年 3月	事務所（本館）を新築		
48年 3月	倉庫、車庫を新築		
54年 3月	製作室を新築		
平成 4年 1月	窯場を新築		
5年 1月	窯場を増築		
9年 5月	養成室にミーティング室を設置		
15年 4月	栃木県産業技術センター窯業技術支援センターに名称変更		
16年 2月	本館展示室を増設		
30年 4月	益子焼等活性化拠点（とちぎの器交流館）を開設		

2 敷地・建物

(1) 産業技術センター

ア 所在地

〒321-3226 栃木県宇都宮市ゆいの杜1丁目5番20号

TEL : 028-670-3391 FAX : 028-667-9430

URL : <https://iri.pref.tochigi.lg.jp>

E-mail : sangise-sougou@pref.tochigi.lg.jp

イ 敷地面積 70,151.40 m²

ウ 延床面積 17,281.40 m²

(ア)研究棟・実験棟 17,062.89 m²

(イ)その他 218.51 m²

産業創造プラザ全体建物面積

区 分	規 模 等				
	延床面積	建築面積	棟数	階数	構造
産業技術センター	17,281.40 m ²	10,847.87 m ²			
研究棟・実験棟他	17,281.40 m ²	10,847.87 m ²	4棟	地下1階 地上3階	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
計量検定所	805.23 m ²	805.23 m ²			
本館棟・検査棟	805.23 m ²	805.23 m ²	1棟	1階	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
小 計	18,086.63 m ²	11,653.10 m ²			
とちぎ産業交流センター	4,662 m ²	1,669 m ²	1棟	3階	鉄筋コンクリート造
合 計	22,748.63 m ²	13,322.10 m ²			

(2) 繊維技術支援センター

ア 所在地

〒326-0817 栃木県足利市西宮町2870

TEL : 0284-21-2138 FAX : 0284-21-1390

E-mail : seni-gc@pref.tochigi.lg.jp

イ 敷地面積 9,021.47 m²

ウ 延床面積 2,856.15 m²

(ア)本館 926.50 m² 鉄筋コンクリート造3階

(イ)編織試験棟 771.12 m² 鉄骨造1階一部2階

(ウ)染色デザイン試験棟 777.60 m² 鉄骨造1階一部2階

(エ)繊維科学試験室 168.46 m² 鉄筋コンクリート造1階

(オ)変電室・その他 212.47 m²

(3) 県南技術支援センター

ア 所在地

〒327-0847 栃木県佐野市天神町950

TEL : 0283-22-0733 FAX : 0283-22-7689

E-mail : kennan-gc@pref.tochigi.lg.jp

イ 敷地面積 5,388.42 m²

ウ 延床面積 1,504.72 m²

(ア)本館 682.96 m² 鉄骨造2階

(イ)試作工房 285.44 m² 鉄骨造1階

(ウ)開放研究室 94.63 m² 鉄骨造1階

(エ)機械金属試験棟 178.88 m² 鉄骨造1階

(オ)その他 262.81 m²

(4) 紬織物技術支援センター

ア 所在地

〒323-0155 栃木県小山市福良 2358

TEL : 0285-49-0009 FAX : 0285-49-0909

E-mail : tsumugi-gc@pref.tochigi.lg.jp

イ 敷地面積 2,300.52 m²

ウ 延床面積 977.13 m² (付属棟を含む)

(5) 窯業技術支援センター

ア 所在地

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子 695

TEL : 0285-72-5221 FAX : 0285-72-7590

E-mail : yougyou-gc@pref.tochigi.lg.jp

イ 敷地面積 8,965.48 m²

ウ 延床面積 2,195.97 m²

(ア)本館 471.91 m² 鉄骨造 2階

(イ)製作室 133.09 m² 鉄骨造 1階

(ウ)調整室 221.35 m² 鉄骨造 1階

(エ)意匠室 204.39 m² 鉄骨造 1階

(オ)試験室 230.28 m² 鉄骨造 1階

(カ)養成室 234.22 m² 鉄骨造 1階

(キ)窯場 143.85 m² 鉄骨造 1階

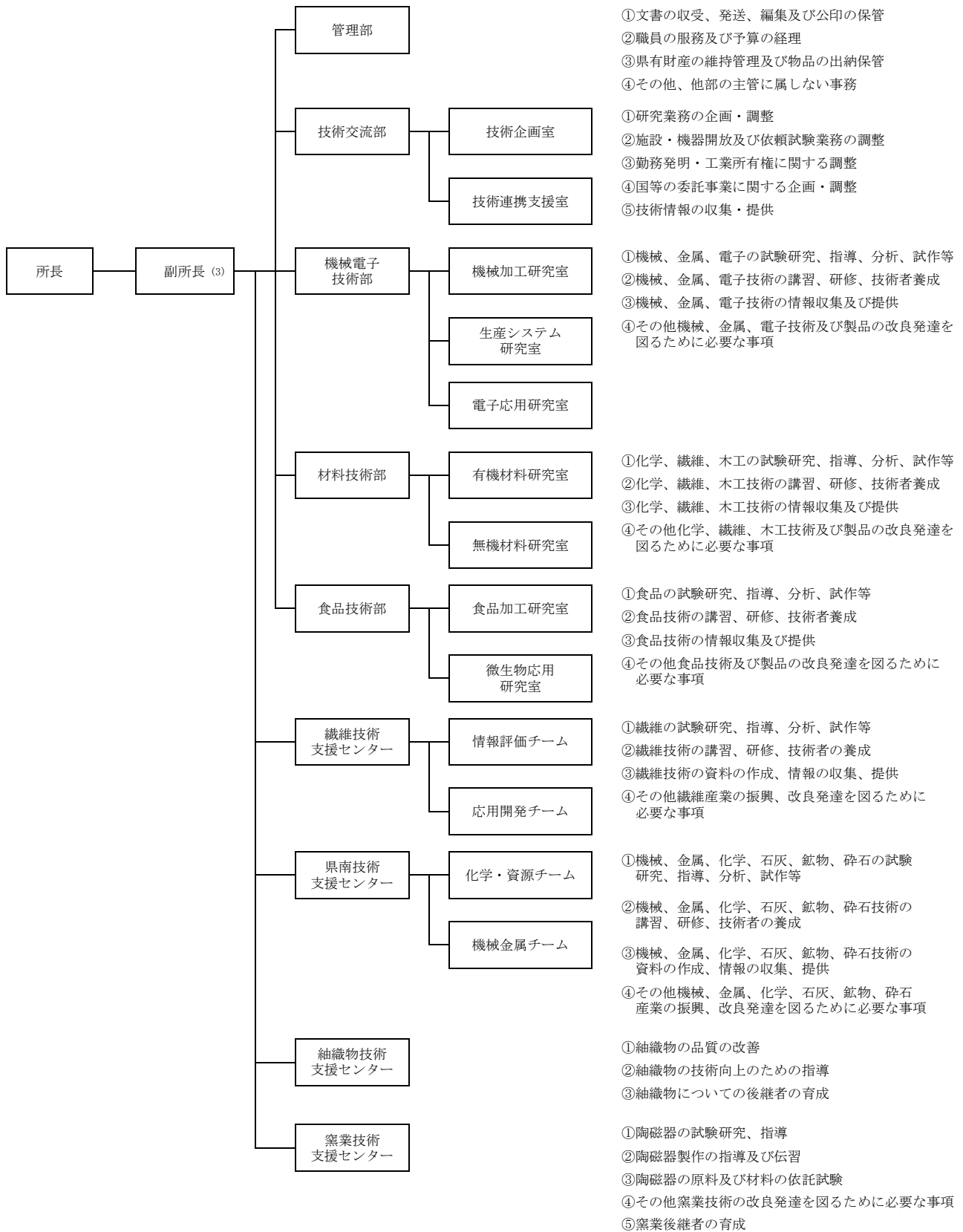
(ク)登り窯 85.56 m² 鉄骨造 1階

(ケ)倉庫兼車庫 66.20 m² 鉄骨造 1階

(コ)とちぎの器交流館 400.00 m² 木造 1階

(サ)その他 5.12 m²

3 組織及び業務内容



4 職員配置

(R6. 4. 1 現在)

所 属 等	行政職	技術職	製織員	専門研究員等	合 計
栃木県産業技術センター					(本所)
所 長	1				1
副 所 長	1	2			3
管理部					4
副所長兼管理部長 部 員	(1) 4				(1) 4
技術交流部					6
副所長兼技術交流部長 技術企画室 技術連携支援室		(1) 3 3			(1) 3 3
機械電子技術部					20
部 長 機械加工研究室 生産システム研究室 電子応用研究室		1 8 6 5			1 8 6 5
材料技術部					11
部 長 有機材料研究室 無機材料研究室		1 5 5			1 5 5
食品技術部					10
部 長 食品加工研究室 微生物応用研究室		1 4 5			1 4 5
繊維技術支援センター					8
センター長 情報評価チーム 応用開発チーム	1	1 2 4			1 3 4
県南技術支援センター					12
センター長 化学・資源チーム 機械金属チーム	1	1 6 4			1 6 5
紬織物技術支援センター					8
センター長 職 員	1 1	3	3		1 7
窯業技術支援センター					7
センター長 職 員	1 1	5			1 6
合 計	12	75	3		90

()は兼務職員

令和6(2024)年度 業務報告

発行 令和7(2025)年6月

発行所 栃木県産業技術センター

Industrial Technology Center of Tochigi Prefecture

〒321-3226

栃木県宇都宮市ゆいの杜1丁目5番20号

TEL 028-670-3391

FAX 028-667-9430

